官報　第七千七百八十二號　明治四十二年六月五日　土曜日　印刷局

○省令

大藏省令第三十八號

煙草專賣法第六條ニ依リ鹿兒島專賣支局管內ノ一部ニ於ケル明治四十三年煙草耕作種類段別左ノ通之ヲ定ム

明治四十二年六月五日　大藏大臣　侯爵桂太郎

管轄支局	地名 府縣	郡區市町村	種類	耕作段別
鹿兒島專賣支局	沖繩縣	那覇區	オキナハ葉	二町歩以內
		首里區	同	六町歩以內
		島尻郡	同	十三町歩以內
		國頭郡	同	三十五町歩以內
		八重山郡	同	五十六町歩以內

大藏省令第三十九號

神戸稅關棧橋使用規則左ノ通定ム

明治四十二年六月五日　大藏大臣　侯爵桂太郎

神戸稅關棧橋使用規則

第一條　神戸稅關棧橋ニ繫留セムトスル船舶ハ登簿噸數一噸ニ付金一錢ノ割合ヲ以テ繫船料ヲ納ムヘシ但シ一噸未滿ノ端數ハ之ヲ除棄ス

第二條　船舶繫留ノ時ヨリ起算シ二十四時ヲ過キ尙繫留セムトスルトキハ其ノ超過時間二十四時每ニ第一條ノ繫船料半額ヲ納ムヘシ但シ二十四時未滿ノ端數ハ二十四時トシテ計算ス

前項ノ繫留時間ニハ船舶カ稅關長ノ命令ニ依リ棧橋ヲ離レタル時間及稅關ノ休日ハ之ヲ算入セス但シ稅關ノ休日ト雖關稅法第十七條ニ依リ貨物積卸ノ特許ヲ得タル場合ハ之ヲ算入ス

第三條　明治二十八年大藏省告示第十號横濱稅關棧橋使用規則ハ第二條第三條第八條第九條及第十三條ヲ除クノ外神戸稅關棧橋ノ使用ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○府令

統監府令第十四號

明治四十一年三月統監府令第九號中「六十五人」ヲ「七十五人」ニ改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年五月二十九日　統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

統監府令第十五號

左ニ指定スル韓國政府ノ公布シタル法令ニ定ムル稅金ヲ期限內ニ納付セサル者アルトキハ理事官ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ國稅徵收法第三十二條ニ當ル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一明治四十二年月統監府告示第十二號ヲ以テ其ノ課文ヲ告示シタル家屋稅法、酒稅法及煙草稅法

前項ノ韓國法令中罰則ノ規定ニ違背シタル者アルトキハ理事官ハ二十五圓以下ノ過料ニ處シ之ヲ徵收ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年五月二十九日　統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

○訓令

統監府訓令第十四號　理事廳

管內學校ニ下付セラレタル

天皇陛下

皇后陛下ノ　御影竝敎育ニ關シ下シタマヒタル　勅語謄本奉戴心得左ノ通定ム

明治四十二年五月二十九日　統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

本文
第77812号

御影竝 勅語謄本奉戴心得

第一條 御影ハ學校內ニ特別ナル奉置所ヲ設ケ若ハ校舍內ニ最清淨ナル場所ヲ選ヒ一室又ハ一區域ヲ設ケ唐櫃等ニ納メ最尊重ニ奉置スヘシ學校ニ適當ナル場所ナキトキハ理事廳民團役所等ニ於テ前項ニ準シ奉置スルコトヲ得

第二條 勅語謄本ハ 御影ト共ニ奉置所ニ奉置スヘシ

勅語謄本ノミヲ下付セラレタル學校ニ在リテハ校舍內最清淨ナル場所若ハ職員室內ノ高所ニ尊重ニ奉置スヘシ

第三條 御影竝 勅語謄本ヲ奉置セル學校ニ在リテハ職員ヲシテ宿直セシムヘシ

勅語謄本ノミ奉置セル學校ニ於テモ亦同シ

學校內ニ教員住宅ノ設アリテ管守ヲ缺カサルモノハ特ニ宿直ヲ置クコトヲ要セス

第四條 非常變災ノ爲豫メ奉遷所ヲ定メ置クヘシ

第五條 御影竝 勅語謄本ハ儀式ヲ擧行スル場合ノ外他ニ假用セシムルコトヲ得ス

第六條 御影竝 勅語謄本奉置ノ學校ニシテ廢校シタル場合ハ 御影竝 勅語謄本ヲ返納スヘシ

○告示

司法省告示第二十七號

明治三十六年三月司法省告示第十八號中山形監獄ノ項鶴岡分監ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ明治四十二年六月十五日ヨリ開廳ス

明治四十二年六月五日 司法大臣 子爵岡部長職

山形監獄	酒田分監	山形縣飽海郡酒田町

遞信省告示第五百五十號

明治三十年十二月遞信省告示第三百五十七號電話加入區域中左記ノ箇所ヲ刪除シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十二年六月五日 遞信大臣 男爵後藤新平

一東京府北豐島郡板橋町

遞信省告示第五百五十一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百五十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十二年六月五日 遞信大臣 男爵後藤新平

遞信省告示第五百五十二號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十二年六月五日 遞信大臣 男爵後藤新平

名稱	位置
板橋郵便局	東京府北豐島郡板橋町

遞信省告示第五百五十三號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十二年六月五日 遞信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局 入區域

東京 板橋（東京府北豐島郡板橋町）

加入區域外通話區域	一通話ノ電話呼出料
「東京大森間」ノ次ニ 東京板橋間	金五錢
「池上大森間」ノ次ニ 池上板橋間	金十五錢
「羽田大森間」ノ次ニ 羽田板橋間	金二十錢
「川口大森間」ノ次ニ 川口板橋間	金五錢
「大宮行田間」ノ次ニ 大宮板橋間	金十五錢
「浦和行田間」ノ次ニ 浦和板橋間	金十錢
「川越大森間」ノ次ニ 川越板橋間	金二十錢
「熊谷行田間」ノ次ニ 熊谷板橋間	金二十五錢
「甲府大森間」ノ次ニ 甲府板橋間	金四十錢
「佐原小見川間」ノ次ニ 大森板橋間	金十五錢
「大森足利間」ノ次ニ 板橋横瀧間	金二十錢
板橋川崎間	金二十錢
板橋横須賀間	金二十五錢
板橋宇都宮間	金二十五錢
板橋高崎間	金二十五錢
板橋小山間	金二十五錢
	金十五錢
	金十五錢
	金十五錢
	金十五錢
	金十錢
	金十錢
	金十五錢
	金十五錢
	金十錢

遞信省告示第五百五十四號

東京府伊豆國三宅島ニ於テ同島伊豆岬ヘ左記ノ燈臺ヲ建設シ本月十日以後每夜點火ノ旨東京府ヨリ報告セリ

明治四十二年六月五日 遞信大臣 男爵後藤新平

三宅島燈臺

一位置 北緯約三十四度六分十五秒東經約百三十九度二十九分十五秒（水路部出版第百二號海圖）

一構造及著色 石造四角形白色

一自燈基礎高 二丈五尺

一至自水面高 七丈二尺

一等級及燈質 無等不動白色

一明弧 北二度三十分西ヨリ北、東、南ヲ經テ南二十六度三十分西マテ二百九度間

一燭光數 右ノ內北二度三十分西ヨリ北二十五度東マテ二十七度三十分間ハ灣內ヲ照輝ス

一光達距離 右方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

八十

晴天ノ夜八浬

統監府告示第四十六號

韓國政府ハ隆熙三年五月二十一日勅令第五十八號ヲ以テ舊白銅貨幣公納使用ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

明治四十二年五月二十九日

通用ヲ禁止シタル舊白銅貨幣ハ本年十二月三十一日迄公納ニ使用スルコトヲ得

附 則

本令ハ隆熙三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監府告示第四十七號

明治四十二年六月一日ヨリ左記郵便所ニ於テ諺文電報ヲモ取扱ハシム

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

明治四十二年五月二十九日

所名	位置
新慈郵便所	黃海道瑞興郡禾同峙石橋洞

統監府告示第四十八號

韓國政府ハ隆熙三年五月二十五日法律第十九號ヲ以テ咸鏡北道清津港ヲ經テ間島及琿春地方ニ輸出入スル貨物ノ關稅免除ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

明治四十二年五月二十九日

咸鏡北道清津港ヲ經テ間島及琿春地方ニ輸出入スル貨物ノ關稅ハ之ヲ免除ス

本法ノ施行ニ關スル細則ハ度支部大臣之ヲ定ム

統監府告示第四十九號

明治四十二年六月一日ヨリ左記電信取扱所ニ對スル電報取扱ニ關スル制限下記ノ通改正ス

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

明治四十二年五月二十九日

所名	位置	直配連區域	其ノ他ノ事項
沙里院電信取扱所	黃海道沙里院鐵道停車場	——	鐵道停車場ヲ肩書シ若ハ取扱所留置ノ指定アル電報ノ外配達セス

正誤

去月三十一日農商務省告示第二百五十五號中下段九行目殺ノ部二五六、八二五二〇〇ノ誤植

○敍任及辭令

○明治四十二年六月四日

敍從二位 正三位勳四等子爵 吉川經健

敍勳三等授瑞寶章 從二位勳四等子爵 吉川經健

兼任臺灣總督府視學官 臺灣總督府總督官房秘書課正六位 小川尙義

敍高等官四等 臺灣總督府國語學校教授 渡部春瀨

兼任臺灣總督府視學官 臺灣總督府國語學校教授兼臺灣總督府國語學校舍監從六位 渡部春瀨

敍高等官六等 廣島高等師範學校教諭正七位 高橋憲一

任臺灣總督府國語學校教授 廣島高等師範學校教諭正七位 高橋憲一

敍高等官六等 京都府立第一高等女學校教諭從七位 田中友二郎

任臺灣總督府國語學校教授

敍高等官七等 兵庫縣立龍野中學校教諭 水田文平

兵庫縣立櫻井高等女學校教諭ニ任ス 兵庫縣立龍野中學校教諭 東原マサヨ

奈良縣立櫻井高等女學校教諭ニ任ス 奈良縣立櫻井高等女學校教諭 卜部岩太郎

三重縣女子師範學校教諭ニ任ス 三重縣女子師範學校教諭 泉館家理

岐阜縣立東濃中學校教諭ニ任ス 岐阜縣立東濃中學校教諭 田上竹子

岐阜縣立大垣高等女學校教諭ニ任ス 岐阜縣立大垣高等女學校教諭 高井清

富山縣立富山中學校教諭ニ任ス 富山縣立富山中學校教諭 高井清

秋田縣立秋田中學校教諭ニ任ス 秋田縣立秋田中學校教諭 窪田勇吉

岡山縣立津山中學校教諭ニ任ス 岡山縣立津山中學校教諭 松下虎次郎

呉市立呉中學校教諭ニ任ス 呉市立呉中學校教諭 觀山覺道

市立下關商業學校教諭ニ任ス　市立下關商業學校　川崎又次郎
市立下關商業學校教諭ニ任ス　市立下關商業學校　市岡　政雄
和歌山縣立和歌山中學校教諭ニ任ス　和歌山縣立和歌山中學校　伊藤　正胤
周桑郡立周桑農蠶學校教諭ニ任ス　周桑郡立周桑農蠶學校　大西鬼三雄
愛媛縣東宇和郡立農蠶學校教諭ニ任ス　愛媛縣東宇和郡立農蠶學校　樋口　三郎
福岡縣立小倉中學校教諭ニ任ス　福岡縣立小倉中學校　小野圭次郎
佐賀縣師範學校教諭ニ任ス　佐賀縣師範學校　角　達助
熊本縣立天草中學校教諭ニ任ス　熊本縣立天草中學校　大塚駈太郎
熊本縣立天草中學校教諭ニ任ス　熊本縣立天草中學校　狩川　次平
熊本縣立中學濟々黌教諭ニ任ス　熊本縣立中學濟々黌　池田　耕介
愛知縣第二師範學校教諭　林　逸
遠敷郡小濱町外二箇村學校組合立小濱女子技藝學校長兼遠敷郡小濱町外二箇村學校組合立小濱女子技藝學校教諭ニ任ス　正四位勳四等伯爵　柳澤　保惠

佛國巴里府ニ於テ第十二回萬國統計會議開設ニ付委員トシテ參列被仰付　東京帝國大學司書官　和田　萬吉
東京帝國大學技師　山口　孝吉

（各通）

御用有之歐米各國ヘ被差遣　愛知縣立第四中學校教諭　原田　忠誨
願ニ依リ本職ヲ免ス（以上六月四日内閣）　關東都督府民政長官從四位勳二等　中村　是公
清國皇帝陛下ヨリ贈與シタル頭等第三雙龍寶星ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル　陸軍歩兵少佐從六位勳四等功四級　佐藤安之助
清國皇帝陛下ヨリ贈與シタル二等第三雙龍寶星ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル　陸軍騎兵大佐正六位勳三等功三級　岩谷龍太郎
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳二等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル　陸軍騎兵中佐正六位勳三等功四級　小池　順
埃地利洪牙利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル卽位六十年紀念章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル　陸軍騎兵少佐正六位勳三等功四級　柴田　次郎
露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル神聖スタニスラス級附銀製記章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル（以上六月四日賞勳局）　陸軍通譯　柴田　次郎
特旨ヲ以テ位一級被進　正三位勳四等子爵　吉川　經健
襲爵被仰付（以上六月四日宮内省）　故子爵由利公正家督相續人　由利　公眞
三級俸下賜（六月四日内務省）　廣島縣深安郡長　鈴木　重彦
東京憲兵隊附被仰付（六月二日陸軍省）　陸軍憲兵中尉　長谷部　撮

（各通）

歩兵第十八聯隊附陸軍一等軍醫　渡邊今朝治
輜重兵第二大隊附陸軍二等軍醫　野口　君平
騎兵第十三聯隊附陸軍一等獸醫　田中　源吉

休職被仰付（以上六月四日同）

（各通）

解兼職　水澤區裁判所判事兼花卷區裁判所判事兼秋田地方裁判所判事兼秋田區裁判所判事兼秋田地方裁判所判事兼秋田區裁判所判事兼秋田地方裁判所判事兼秋田

ンコトヲ要ス被告ニ對シ靈力方惡魔スル處アリシヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職貧ヲ顧ミス該客約ヲ利用シテ定治ノ歸貧ヲ倖免セシメ以テ開キタル右定治ニ對スル賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治ハ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ヲ立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ其申請ヲ採用シ被告人喚問ノ決定ヲ發シ並ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ開廷當萬兵衛ヲ自宅ニ誘致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メニ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事ヲ惹起スルアラハ充分ノ慰力ヲ爲スヘキ旨ヲ說キ以テ延ヲシテ僞證ノ念ヲ强固ナラシメ延ハ同日ノ證人ヲ接スルニ及ノ事實中

第一　被告カ仙臺組合辯護士ニシテ前記ノ如ク平山定治ニ對スル賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シタル事實並ニ公判ニ於ケル證人申請ニ關スル事實ハ被告ノ當法廷ニ於ケル自認並ニ大坊萬兵衛訊問調書及ヒ平山定治外一名賭博被告事件記錄等ニ依リ明カニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ申根延訊問調書中其趣旨ノ記載ニ徵シ更ニ疑ヲ容レサル處ナリ

第二　其他ノ事實ニ對スル被告ノ辯解ノ要旨ハ被告カ大坊萬兵衛ノ紹介ニ依リ右辯護受任ノ際萬兵衛由リ申根延方ニ立越シ居リテ犯所ニ在ラサリシ旨ヲ開知シ以テ其申出ヲ信シ公判ニ於テ證人ノ申請ヲ爲スニ至リタルモノナリ然ルニ其後現場臨檢ノ際巡査梶原某ヨリ定治カ延ニ僞證ヲ委囑シタル旨聞知シタルニヨリ其事實ノ有無ヲ疑ヒ延ヲシテ眞實ノ陳述ヲ爲サシメンカ爲メ同日定治方ニ於テ延ヲ招致スヘキ旨同萬兵衛ニ依頼シ第二回公判開廷前自宅ニ於テ延ニ會見シ虛僞ノ證言ヲ爲スヘカラサル旨忠告シタルモノナリト云フニ在レトモ

一、檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニ爲リタルニ付ヤ同人ニ對シ辯護人ノ趣旨ノ供述記載アリ又大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ニ依リ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞證囑託ニ關スル事實ヲ自白シタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭前忠告ニ從ヒ其事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

二、申根延訊問調書ニ大野村野上駐在所巡査奉職中平山定治ヨリ同人ハ賭博現場ヨリ逃走シタル事實アルモ犯時自分方ニ來リ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケタル旨ノ證言ヲ爲シタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲセシメント圖リタル事實アリ又被告ニ面接前警察署長ヨリ右ニ關スル推問ヲ受ケタル際定治ハ犯時自宅ニ來リ居タル旨答ヘタル事實アルコトハ中根延訊問調書及ヒ福島縣警部野村唯三郎訊問調書ニ其趣旨ノ記載アルニ依リ明カナルヲ以テ延ハ被告ニ接見前既ニ僞證ノ爲シ居リタルモノニシテ本件被告カ本件行爲ハ之ヲ强固ナラシメタルニ過キサルモノ國ムルヲ相當トス

第四　翻テ被告カ本件行爲ハ動機ヲ慮フルニ定治ニ對スル被告事件ノ辯護受任ニ關キテハ成效謝金アルヲ以テ之カ收得ヲ目的トシ本件行爲ヲ敢テスルニ至リタルヤノ疑ナキニアラス又被告ハ出張事務所開設ノ企圖ヲ以テ平町ニ假寓シ居リタル際ナルヲ以テ業務上ノ機略トシテ之ヲ敢テシタルモノニアラサルヤノ疑モ亦之ナキニアラスト雖トモ證據上之ヲ認ムルニ充分ナラサルモノナルヲ以テ永戸村長ノ同答書中定治ハ明治三十二年補充輜重輜卒ニシテ勳八等旭日章ヲ有スル旨ノ記載及被告訊問調書中定治ニ面會ノ際前科ハ奇ナキ旨申立テタルヲ以テ之ヲ信シ居リタルニ付何分證方シタルヲ以テ依頼アリ最初ノ公判ニ於テモ前科ナキ旨申立テタルヲ以テ之ヲ信シ居リタルニ最終ノ公判ニ至リ前科アル旨判明シタル旨ノ供述記載ヲ參酌シ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘本件非行ヲ敢テスルニ至リタルモノト認ムルヲ相當ナリト評決シタリ

右所爲ハ仙臺辯護士會會則第三十一條第一項辯護法第二十三條第二項ニ違背スルヲ以テ同法第三十三條第三號ヲ適用シ主文ノ如ク判決ス

明治四十二年一月二十三日

宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所
裁判長　判事法學博士　前田孝階
判事　岩田一郎
判事　林頼三郎
判事　岡田清次
判事　工藤仙太郎

明治四十二年な第二號

判決

宮城縣牡鹿郡石巻町字鎌錢場十五番地平民
辯護士　佐藤終吉　天保十三年十二月生

右辯護士佐藤終吉懲戒被告事件ニ付明治四十二年一月二十三日宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所カ言渡シタル判決ニ對シ被告ヨリ控訴ヲ申立タリ因テ當懲戒裁判所ハ檢事總長松室致代理檢事鈴木宗言立會審理ヲ遂ケ判決スルコト左ノ如シ

原判決ヲ取消シ被告佐藤終吉ヲ五月ノ停職ニ處ス

理由

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

僞ニシタル事實ハ被告ノ自認スル所ニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ同人訊問調書中其趣旨ノ記載ニ依リ明カナリ而シテ被告カ辯護受任ノ當時僞證囑託ノ事實ヲ知リ定治ノ罪責ヲ倖免セシムル趣旨ヲ以テ延ヲ自宅ニ招致シ定治ノ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ說キタル事實ハ檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニ爲リタルニ付ヤ同人ニ對シ辯護人ノ趣旨ノ供述記載アリ又大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ニ依リ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

二、申根延訊問調書ニ大野村野上駐在所巡査奉職中平山定治ヨリ同人ハ賭博現場ヨリ逃走シタル事實アルモ犯時自分方ニ來リ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケタル旨ノ證言ヲ爲シタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

セシメント圖リタル事實アリ又被告ニ面接前警察署長ヨリ右ニ關スル推問ヲ受ケタル際定治ハ犯時自宅ニ來リ居タル旨答ヘタル事實アルコトハ中根延訊問調書及ヒ福島縣警部野村唯三郎訊問調書ニ其趣旨ノ記載アルニ依リ明カナルヲ以テ延ハ被告ニ接見前既ニ僞證ノ爲シ居リタルモノニシテ本件被告カ本件行爲ハ之ヲ强固ナラシメタルニ過キサルモノ國ムルヲ相當トス

第四　翻テ被告カ本件行爲ハ動機ヲ慮フルニ定治ニ對スル被告事件ノ辯護受任ニ關キテハ成效謝金アルヲ以テ之ヲ收得ヲ目的トシ本件行爲ヲ敢テスルニ至リタルヤノ疑ナキニアラス又被告ハ出張事務所開設ノ企圖ヲ以テ平町ニ假寓シ居リタル際ナルヲ以テ業務上ノ機略トシテ之ヲ敢テシタルモノニアラサルヤノ疑モ亦之ナキニアラスト雖トモ證據上之ヲ認ムルニ充分ナラサルモノナルヲ以テ永戸村長ノ同答書中定治ハ明治三十二年補充輜重輜卒ニシテ勳八等旭日章ヲ有スル旨ノ記載及被告訊問調書中定治ニ面會ノ際前科ハ奇ナキ旨申立テタルヲ以テ之ヲ信シ居リタルニ付何分證方シタルヲ以テ依頼アリ最初ノ公判ニ於テモ前科ナキ旨申立テタルヲ以テ之ヲ信シ居リタルニ最終ノ公判ニ至リ前科アル旨判明シタル旨ノ供述記載ヲ參酌シ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘本件非行ヲ敢テスルニ至リタルモノト認ムルヲ相當ナリト評決シタリ

右所爲ハ仙臺辯護士會會則第三十一條第一項辯護法第二十三條第二項ニ違背スルヲ以テ同法第三十三條第三號ヲ適用シ主文ノ如ク判決ス

明治四十二年一月二十三日

宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所
裁判長　判事法學博士　前田孝階
判事　岩田一郎
判事　林頼三郎
判事　岡田清次
判事　工藤仙太郎

明治四十二年な第二號

判決

宮城縣牡鹿郡石巻町字鎌錢場十五番地平民
辯護士　佐藤終吉　天保十三年十二月生

右辯護士佐藤終吉懲戒被告事件ニ付明治四十二年一月二十三日宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所カ言渡シタル判決ニ對シ被告ヨリ控訴ヲ申立タリ因テ當懲戒裁判所ハ檢事總長松室致代理檢事鈴木宗言立會審理ヲ遂ケ判決スルコト左ノ如シ

原判決ヲ取消シ被告佐藤終吉ヲ五月ノ停職ニ處ス

理由

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

僞ニシタル事實ハ被告ノ自認スル所ニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ同人訊問調書中其趣旨ノ記載ニ依リ明カナリ而シテ被告カ辯護受任ノ當時僞證囑託ノ事實ヲ知リ定治ノ罪責ヲ倖免セシムル趣旨ヲ以テ延ヲ自宅ニ招致シ定治ノ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ說キタル事實ハ檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付ヤ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

二、申根延訊問調書ニ大野村野上駐在所巡査奉職中平山定治ヨリ同人ハ賭博現場ヨリ逃走シタル事實アルモ犯時自分方ニ來リ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケタル旨ノ證言ヲ爲シタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

僞ニシタル事實ハ被告ノ自認スル所ニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ同人訊問調書中其趣旨ノ記載ニ依リ明カナリ而シテ被告カ辯護受任ノ當時僞證囑託ノ事實ヲ知リ定治ノ罪責ヲ倖免セシムル趣旨ヲ以テ延ヲ自宅ニ招致シ定治ノ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ說キタル事實ハ檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニ爲リタルニ付ヤ同人ニ對シ辯護人ノ趣旨ノ供述記載アリ又大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ニ依リ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

二、申根延訊問調書ニ大野村野上駐在所巡査奉職中平山定治ヨリ同人ハ賭博現場ヨリ逃走シタル事實アルモ犯時自分方ニ來リ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケタル旨ノ證言ヲ爲シタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

僞ニシタル事實ハ被告ノ自認スル所ニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ同人訊問調書中其趣旨ノ記載ニ依リ明カナリ而シテ被告カ辯護受任ノ當時僞證囑託ノ事實ヲ知リ定治ノ罪責ヲ倖免セシムル趣旨ヲ以テ延ヲ自宅ニ招致シ定治ノ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ說キタル事實ハ檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニ爲リタルニ付ヤ同人ニ對シ辯護人ノ趣旨ノ供述記載アリ又大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ニ依リ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

二、申根延訊問調書ニ大野村野上駐在所巡査奉職中平山定治ヨリ同人ハ賭博現場ヨリ逃走シタル事實アルモ犯時自分方ニ來リ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケタル旨ノ證言ヲ爲シタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キタルニヨリ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニナリタルニ付テハ同人ニ對シ裁判所ニ出頭前忠告シ置キ度ニ付同人ヲ伴ヒ來ルヘキ旨依頼シタル旨ノ供述記載大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ヲ受ケ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リタル後被告ハ延カ裁判所ニ出頭スル前事務所以外ニ於テ面會シタル旨依頼ヲ受ケタルモノニアラサル旨ノ供述記載アリ

被告佐藤終吉ハ仙臺地方裁判所所屬辯護士ニシテ福島縣石城郡平町字田町五十一番地ニ假寓中明治四十一年二月下旬同縣雙葉郡浪江町字權現堂大坊萬兵衛ノ紹介ニ因リ當時平區裁判所ニ繫屬セル同縣石城郡永戸村大字渡戸平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ委任シタル際右萬兵衛ヨリ定治ハ同年二月二十日夜同縣雙葉郡熊町村字夫澤龜谷孫太郎方ニ於テ賭博ノ現行ヲ巡査ニ認メラレ其場ヲ逃走シタル者ナルモ其後同郡大野村字野上駐在所巡査中根延ニ對シ犯罪當時同巡査方ニ立越シ居リタル旨虛僞ノ證言ヲ爲スヘキ事ヲ委囑シ同巡査ハ之ヲ諾シタル趣ヲ聞知シ又定治ハ戰功ニ因リ勳章ヲ賜リタル身ナルニ賭博罪ニテ處刑セラルルトキハ之ヲ恥辱セラルヘキヲ憂ヒ被告ニ對シ藥力ヲ懸囑シタルヨリ被告ハ定治ニ同情ヲ寄スルノ餘自己ノ地位職責ト顧ミス定治ト申根延間ノ密約ヲ利用シテ賭博被告事件ノ第一回公判ニ於テ定治カ犯時賭博ノ現場ニ在ラサリシ事實ト立證スルノ趣旨ヲ以テ申根延ヲ證人トシテ喚問セラレン事ヲ申請シタルニ裁判所ハ嗯許スル所アナリタリ茲ニ於テ被告ハ同月九日同事件ノ公判開廷前大坊萬兵衛ヲシテ延ヲ自宅ニ招致セシメタル上延ニ對シ定治ノ爲メ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ勸メ若シ其證言ノ爲メ身上ニ萬一ノ事アラハ充分ノ藥力ヲ爲スヘキ旨ヲ强示シタリ而シテ延ハ同日ノ公判ニ於テ前揭定治ト約ニ基キ僞證ヲ爲シタルモノナリ

右事實中被告カ仙臺組合辯護士ニシテ平山定治賭博被告事件ノ辯護ヲ受任シ公判ニ於テ證人申請ヲ

僞ニシタル事實ハ被告ノ自認スル所ニシテ又申根延カ僞證ヲ爲シタル事實ハ同人訊問調書中其趣旨ノ記載ニ依リ明カナリ而シテ被告カ辯護受任ノ當時僞證囑託ノ事實ヲ知リ定治ノ罪責ヲ倖免セシムル趣旨ヲ以テ延ヲ自宅ニ招致シ定治ノ利益ナル證言ヲ爲スヘキ旨ヲ說キタル事實ハ檢事日向英行ノ被告供述調取書ニ延ヲ證人トシテ申請シタル後萬兵衛ハ自宅ニ來リタルニ依リ延ヲ證人トシテ喚問ヲ受クル事ニ爲リタルニ付ヤ同人ニ對シ辯護人ノ趣旨ノ供述記載アリ又大坊萬兵衛第一回訊問調書ニ定治要ノ依頼ニ依リ被告ニ對シ辯護委任ノ際定治ノ犯行並ニ延ニ對スル僞囑託ニ關スル事實ヲ告ケタルニ相違ナク爲メニ證人申請許可ニ爲リ

区分	前月分件數	前年同月分件數	比較	前月比較	前年同月比較	増減	一月ヨリ當月ニ至ル件數	前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	累計
所判其他ノ事件	一、三五八 ※三一	二、八一三 ※三一	二、七七九 ※三	一	一	一	一、三五八 ※三一	二、八一三 ※三一	二、七七九 ※三
計	二、一、四五 ※一	大、三八八 ※一	大、〇七七 ※一	一、四五 ※一	大、三八八 ※一	一、四五 ※一	二、一、四五 ※一	大、三八八 ※一	大、〇七七 ※一
比較 前月分件數	一〇、五七一 ※一	一、四七六 ※一	四、五七一 ※一	一〇、五七一 ※一	一、四七六 ※一	一〇、五七一 ※一	一、四七六 ※一	四、五七一 ※一	一、四七六 ※一
前年同月分件數	一、八四三〇 ※一	一、八五六 ※一	一、〇五七 ※一	一、八四三〇 ※一	一、八五六 ※一	一、八四三〇 ※一	一、八五六 ※一	一、〇五七 ※一	一、八五六 ※一
増減 前月比較	△ ※七〇	△ ※八一	△ ※五一	△ ※七〇	△ ※八一	△ ※五一	△ ※七〇	△ ※八一	△ ※五一
前年同月比較	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	一九、一九 ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、四五七 ※一	一、九六〇 ※一	二、五七七 ※一	一、四五七 ※一	一、九六〇 ※一	二、五七七 ※一	一、四五七 ※一	一、九六〇 ※一	二、五七七 ※一
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一
通常訴訟	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一九、一九 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	一九、一九 ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、五九五 ※一	二、四五七 ※一	二、五七七 ※一	一、五九五 ※一	二、四五七 ※一	二、五七七 ※一	一、五九五 ※一	二、四五七 ※一	二、五七七 ※一
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一	二、一、〇五七 ※一	二、一、〇七七 ※一	一、九七〇 ※一
証書訴訟	七六 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	七六 ※一	一、四五九 ※一	七六 ※一	一、四五九 ※一	一、九八四 ※一	七六 ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、〇七〇 ※一	一、九六〇 ※一	二、〇三〇 ※一	一、〇七〇 ※一	一、九六〇 ※一	二、〇三〇 ※一	一、〇七〇 ※一	一、九六〇 ※一	二、〇三〇 ※一
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、五九〇 ※一	一、八五〇 ※一	一、〇一〇 ※一	一、五九〇 ※一	一、八五〇 ※一	一、〇一〇 ※一	一、五九〇 ※一	一、八五〇 ※一	一、〇一〇 ※一
爲替訴訟	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大	一、〇一五 ※大	一、二六八 ※大	二、二八三 ※大
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	三四九 ※大	三四六 ※大	一、六九六 ※大	三四九 ※大	三四六 ※大	一、六九六 ※大	三四九 ※大	三四六 ※大	一、六九六 ※大
人事訴訟	一、九六 ※大	二、四三五 ※大	二、四〇一 ※大	一、九六 ※大	二、四三五 ※大	二、四〇一 ※大	一、九六 ※大	二、四三五 ※大	二、四〇一 ※大
地方裁判所 控訴	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
抗告	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
假差押假處分	三一 ※一	三一〇 ※一	三五一 ※一	三一 ※一	三一〇 ※一	三五一 ※一	三一 ※一	三一〇 ※一	三五一 ※一
非訟事件手續法ニ依ル非訟事件	五〇 ※一	四三 ※一	九三 ※一	五〇 ※一	四三 ※一	九三 ※一	五〇 ※一	四三 ※一	九三 ※一
破産	四三四 ※一	五〇二 ※一	九三五 ※一	四三四 ※一	五〇二 ※一	九三五 ※一	四三四 ※一	五〇二 ※一	九三五 ※一
其他ノ事件	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一
計	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一
控訴 抗告	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一
假差押假處分	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一
選擇訴訟及當選訴訟	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
其他ノ事件	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
計	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一

区分	前月分件數	前年同月分件數	比較	前月比較	前年同月比較	増減	一月ヨリ當月ニ至ル件數	前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	累計
院比較 前月分件數	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三
前年同月分件數	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三
増減 前月比較	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二
前年同月比較	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五
抗告	九一 ※一	一、六一 ※一	二、五九 ※一	九一 ※一	一、六一 ※一	二、五九 ※一	九一 ※一	一、六一 ※一	二、五九 ※一
他ノ事件	一、三九 ※一	一、八一 ※一	三、二〇 ※一	一、三九 ※一	一、八一 ※一	三、二〇 ※一	一、三九 ※一	一、八一 ※一	三、二〇 ※一
計	一、四八〇 ※三一	二、二四九 ※三一	三、七二九 ※三	一、四八〇 ※三一	二、二四九 ※三一	三、七二九 ※三	一、四八〇 ※三一	二、二四九 ※三一	三、七二九 ※三
大審院 控訴	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
抗告	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
假差押假處分	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一	三 ※一
非訟事件手續法ニ依ル非訟事件	九 ※一	九 ※一	一八 ※一	九 ※一	九 ※一	一八 ※一	九 ※一	九 ※一	一八 ※一
破産	四 ※一	五 ※一	九 ※一	四 ※一	五 ※一	九 ※一	四 ※一	五 ※一	九 ※一
其他ノ事件	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一	一〇、〇三一 ※一	一二、九五一 ※一	二三、〇〇二 ※一
計	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一	一〇、〇五一 ※一	一二、一八五 ※一	二三、二三五 ※一
控訴 抗告	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一	一、九六四 ※一	一、五四八 ※一	三、五一八 ※一
假差押假處分	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	四七 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一
選擇訴訟及當選訴訟	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
其他ノ事件	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
計	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一	一、九四八 ※一	一、〇二四 ※一	一、〇七一 ※一

区分	前月分件數	前年同月分件數	比較	前月比較	前年同月比較	増減	一月ヨリ當月ニ至ル件數	前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	累計
合計	一、九四六 ※三一	二、八一三 ※三一	二、七七九 ※三	一、九四六 ※三一	二、八一三 ※三一	二、七七九 ※三	一、九四六 ※三一	二、八一三 ※三一	二、七七九 ※三
比較 前月分件數	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三	一、五〇三 ※三一	一、八四六 ※三一	三四三 ※三
前年同月分件數	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三	一、四八五 ※三一	二、四〇〇 ※三一	九一五 ※三
増減 前月比較	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二	△ ※一四	△ ※一六	△ ※二
前年同月比較	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五	一、五一一 ※二四八	二、一六八 ※二四八	二、七七九 ※四〇五
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇五一 ※二四八	二、一、二六八 ※二四八	一、九七九 ※四〇五
前月比較	九四 ※二	一、二一一 ※二	二、二〇五 ※二	九四 ※二	一、二一一 ※二	二、二〇五 ※二	九四 ※二	一、二一一 ※二	二、二〇五 ※二
前年同月分件數	九七 ※一	二、〇一〇 ※一	二、九八七 ※一	九七 ※一	二、〇一〇 ※一	二、九八七 ※一	九七 ※一	二、〇一〇 ※一	二、九八七 ※一
増減 前月比較	△ ※一四	△ ※一八	△ ※一五	△ ※一四	△ ※一八	△ ※一五	△ ※一四	△ ※一八	△ ※一五
前年同月比較	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	一、四九八 ※二四八	二、一六一 ※二四八	二、六五九 ※四〇五	一、四九八 ※二四八	二、一六一 ※二四八	二、六五九 ※四〇五	一、四九八 ※二四八	二、一六一 ※二四八	二、六五九 ※四〇五
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇四九 ※二四八	二、一、二六一 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇四九 ※二四八	二、一、二六一 ※二四八	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇四九 ※二四八	二、一、二六一 ※二四八	一、九七九 ※四〇五
刑事事件 刑法犯	八五六 ※一〇	三、七一四 ※三一	四、五七〇 ※三一	八五六 ※一〇	三、七一四 ※三一	四、五七〇 ※三一	八五六 ※一〇	三、七一四 ※三一	四、五七〇 ※三一
特別法犯	六〇一 ※一四	二、三六八 ※一六	二、九六九 ※二〇	六〇一 ※一四	二、三六八 ※一六	二、九六九 ※二〇	六〇一 ※一四	二、三六八 ※一六	二、九六九 ※二〇
私訴	一一 ※一	一〇 ※一	二一 ※一	一一 ※一	一〇 ※一	二一 ※一	一一 ※一	一〇 ※一	二一 ※一
其他ノ事件	八 ※一	二六一 ※一	二六九 ※一	八 ※一	二六一 ※一	二六九 ※一	八 ※一	二六一 ※一	二六九 ※一
計	一、四七六 ※一四	六、三四四 ※一四	七、八四〇 ※一四	一、四七六 ※一四	六、三四四 ※一四	七、八四〇 ※一四	一、四七六 ※一四	六、三四四 ※一四	七、八四〇 ※一四
区裁判所 比較 前月分件數	五、〇四一 ※五六	八、七六〇 ※四七	一、九三九 ※四	五、〇四一 ※五六	八、七六〇 ※四七	一、九三九 ※四	五、〇四一 ※五六	八、七六〇 ※四七	一、九三九 ※四
前年同月分件數	五、六〇〇 ※四三	八、七〇〇 ※四三	一、一〇〇 ※四	五、六〇〇 ※四三	八、七〇〇 ※四三	一、一〇〇 ※四	五、六〇〇 ※四三	八、七〇〇 ※四三	一、一〇〇 ※四
増減 前月比較	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一
前年同月比較	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一	△ ※一
累計 一月ヨリ當月ニ至ル件數	九四一 ※二六	一、四一七 ※二六	二、三五八 ※二六	九四一 ※二六	一、四一七 ※二六	二、三五八 ※二六	九四一 ※二六	一、四一七 ※二六	二、三五八 ※二六
前年一月ヨリ當月ニ至ル件數	二、一、〇四一 ※二六	二、一、二六一 ※二六	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇四一 ※二六	二、一、二六一 ※二六	一、九七九 ※四〇五	二、一、〇四一 ※二六	二、一、二六一 ※二六	一、九七九 ※四〇五
既濟	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
未濟	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
非訟事件 裁判	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
裁判	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
裁判外ノ和解	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
和解	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
取下	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
訴訟	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
被告人	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一	一 ※一
其他	三 ※一	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一	三 ※一	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一	三 ※一	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一
計	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一	三、六九九 ※一	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一	三、六九九 ※一	一、六九九 ※一	一、九九九 ※一	三、六九九 ※一
審理中	八六一 ※一四	一、〇一一 ※一四	一、八七一 ※一四	八六一 ※一四	一、〇一一 ※一四	一、八七一 ※一四	八六一 ※一四	一、〇一一 ※一四	一、八七一 ※一四
停止	九 ※一	一、〇一一 ※一	一、〇二〇 ※一	九 ※一	一、〇一一 ※一	一、〇二〇 ※一	九 ※一	一、〇一一 ※一	一、〇二〇 ※一
計	八七一 ※一六	一、〇一一 ※一六	一、八八一 ※一六	八七一 ※一六	一、〇一一 ※一六	一、八八一 ※一六	八七一 ※一六	一、〇一一 ※一六	一、八八一 ※一六

第7778号

	前月比較	前月分件數	前年同月比較	前年同月分件數	一月ヨリ當月ニ至ル件數	前年一月ヨリ當月ニ至ル件數
所 増減	△		△			
所 累計						
第一審 特別法犯						
第一審 刑法犯						
地方裁判所 控訴 特別法犯告訴						
地方裁判所 控訴 刑法犯告訴						
地方裁判所 抗告						
地方裁判所 私訴						
地方裁判所 其他ノ事件						
地方裁判所 豫審						
地方裁判所 計						
地方裁判所 比較						
地方裁判所 前月分件數						
地方裁判所 前年同月分件數						
地方裁判所 前月比較	△		△			
地方裁判所 前年同月比較	△		△			
地方裁判所 増減	△		△			
地方裁判所 累計						
地方裁判所 一月ヨリ當月ニ至ル件數						
地方裁判所 前年一月ヨリ當月ニ至ル件數						
控訴院 特別法犯						
控訴院 刑法犯						
控訴院 抗告						
控訴院 私訴						
控訴院 其他ノ事件						
控訴院 豫審						
控訴院 計						
控訴院 比較						
控訴院 前月分件數						
控訴院 前年同月分件數						
控訴院 前月比較	△		△			
控訴院 前年同月比較	△		△			
控訴院 増減	△		△			
控訴院 累計						
控訴院 一月ヨリ當月ニ至ル件數						
控訴院 前年一月ヨリ當月ニ至ル件數						
大審院 特別法犯告						
大審院 刑法犯						
大審院 抗告						
大審院 私訴						
大審院 其他ノ事件						
大審院 豫審						
大審院 計						
大審院 比較						
大審院 前月分件數						
大審院 前年同月分件數						
大審院 前月比較	△		△			
大審院 前年同月比較	△		△			
大審院 増減	△		△			
大審院 累計						
大審院 一月ヨリ當月ニ至ル件數						
大審院 前年一月ヨリ當月ニ至ル件數						
合計						
合計 比較						
合計 前月分件數						
合計 前年同月分件數						
合計 前月比較	△		△			
合計 前年同月比較	△		△			
合計 増減	△		△			
合計 累計						
合計 一月ヨリ當月ニ至ル件數						
合計 前年一月ヨリ當月ニ至ル件數						

	前月比較	前月分件數	前年同月比較	前年同月分件數	一月ヨリ當月ニ至ル件數	前年一月ヨリ當月ニ至ル件數
裁判所 豫審						
裁判所 檢事局						
裁判所 檢事						
裁判所 檢事						
裁判所 檢事

○辯護士名簿登錄換　東京地方裁判所所屬辯護士鯉沼平四郎ノ請求ニ依リ去月二十八日宇都宮地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄換ヲ爲セリ

○辯護士名簿登錄取消　東京地方裁判所所屬辯護士法學博士厚本辰雄、大阪地方裁判所所屬辯護士清水藤之助ノ請求ニ依リ去月三十一日孰モ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消セリ

○公證人解任　東京區裁判所管內公證人宇野美苗ハ去月二十九日願ニ依リ公證人ヲ免セラレタリ

○出火　北海道　東京府及岡山縣ニ於ケル出火左ノ如シ

北海道　本年四月二十四日午前十時北見國常呂郡野付牛村字ヒウシナイ官林ヨリ出火千坪燒失同二十五日午後四時鎭火（同二十四日午前十一時同村字オロオムシ官林ヨリ出火千五百町歩燒失同二十六日午後十時三十分鎭火同二十五日午前九時同村字タレノヒウシナイ官林ヨリ出火二千町歩燒失午後十一時鎭火）同二十六日午前八時同國枝幸郡歌登村字禮文官林ヨリ出火百七十五町歩燒失同二十八日午後五時鎭火同二十六日午前九時同郡禮文村字フレップ官林ヨリ出火百二十町歩燒失同二十九日午前九時鎭火同二十八日午後一時同村字禮文官林ヨリ出火二百町歩燒失同二十九日午後十一時鎭火同二十七日午前五時同村字オチシベツ官林ヨリ出火二百九十町歩燒失去月三日午後四時鎭火本年四月二十七日午後五時同國網走郡能取村字パイラキ官林ヨリ出火百二十町歩燒失去月三日午後六時鎭火本年四月二十七日同郡藻琴村字ナブサモコト官林ヨリ出火千三百町歩燒失去月四日午後七時鎭火本年四月二十八日午前十一時同村字ウラシベツ官林ヨリ出火五百町歩燒失同二十九日午後七時鎭火同二十八日同國斜里郡朱圓村字ホンシユマトカラ官林ヨリ出火二百五十町歩燒失同二十九日鎭火同二十八日釧路國足寄郡利別村字オソウシナイ官林ヨリ出火千町歩燒失鎭火月日詳ナラス去月一日北見國斜里郡朱圓村字朱圓官林ヨリ出火三十町歩燒失同二日正午十二時鎭火同二日同國枝幸郡歌登村字モマナイ官林ヨリ出火二十八町歩燒失同三日午後八時鎭火同三日午前七時同郡枝幸村字ウエンナイ官林ヨリ出火八十町歩燒失同六日午後二時鎭火同三日午後六時石狩國濱益郡群別村官林ヨリ出火五十九町歩燒失同四日午後十時二十分鎭火同四日午前一時北見國枝幸郡枝幸村字トユマキ官林ヨリ出火二十五町燒失同五日午前三時鎭火同四日後志國積丹郡入船村字日司官林ヨリ出火十町歩燒失同日午後十二時鎭火原因孰モ詳ナラス

東京府　本月三日午後四時十分北多摩郡清瀧村大字上清戸ヨリ出火全燒一戶同時三十分鎭火セリ

岡山縣　去月十七日阿哲郡草間村大字足見ヨリ出火家屋一棟燒失燒死者一原因過失ナリ

○陸海軍

○韓國駐箚軍人死亡者　韓國駐箚陸軍軍人ノ死亡者左ノ如シ（陸軍省）

去月十八日暴徒鎭壓ノタメ韓國全羅南道寶城郡福內面福內場ニ於テ戰死

沖繩縣宮古郡平良村字下里五百二十番地平民

歩兵第十四聯隊第七中隊

陸軍歩兵一等卒　興那覇加眞

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
葛城	六、三	佐世保	鬼脇	船泊
松江	同	同	機波	三日月
伏見	同	同	淺間	同
武藏	同	沙市	漢口	吳
紗那	同	同	貫電	同
			噴腦	大泊

艦名	月日	著	發	行先
磯波	六、四	松眞	竹敷	
淺間	同	同	同	
貫電	同	同	同	
噴腦	同	同	同	
稚內	同	同	同	

○產業

○役員認可　中村藤吉ヲ濱松商業會議所會頭ニ、織田利三郎、宮本甚七ヲ同副會頭ニ、山葉貫楠、鵜見信平、鈴木幸作、林彌十郎、氣賀貿子治、平野又十郎、竹山讓三ヲ同常議員ニ、井內太平ヲ德島商業會議所會頭ニ、片山省七、高尾棟治ヲ同副會頭ニ、細井愛藏、岩城伊平、原伊代次、吉見宗二、眞鍋與次郎ヲ同常議員ニ認可申請ニ對シ一昨三日孰モ認可セリ（農商務省）

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
愛媛試登錄第三百八十一號	伊予國喜多郡村內	銅	一八六、八九〇坪	愛媛縣西宇和郡八幡濱町 小倉又吉	五、一二	試掘願許可
愛媛試登錄第三百八十二號	伊予國喜多郡村內	同	一四七、三三九	同縣同郡川之石村字都宮 眞一	五、一四	同
高知試登錄第百二十四號	長岡郡東本山村地內	同	一二五、〇〇〇	同上	五、一四	同
石川試登錄第百八十九號	羽咋郡稗造村、鉈打村地內	金、銀	一八九、〇五二	神戶市山本通三丁目 岩吉	五、一六	同
奈良試登錄第百四十一號	吉野郡宗檜村地內	銅	五七、四四五	奈良縣吉野郡下市町大阪鑛業株式會社	五、一六	同
兵庫試登錄第百八十九號	朝來郡中川村地內	金、銀、銅	三一〇、一〇二	兵庫縣朝來郡生野町淺間	五、一六	同
大分試登錄第二百四十八號	日田郡中津江村地內	同	三〇九、八〇〇	東京市日本橋區外一町人 坂本三郎	五、一六	同
佐賀試登錄第百十五號	小城郡南多久村地內及東多久村地內	石炭	九七六、二一七	佐賀市松原町 古賀製次郎	五、一八	同
山口試登錄第二百九十一號	美禰郡赤郷村地內	銅	四五、二三〇	山口縣美禰郡大田村外二人 堀田繼平	五、二八	同

試掘不許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
福岡縣遠賀郡香月村地內	石炭	二、八九二、〇〇〇坪		福岡縣筑手郡福地村大字森 豐作	五、二五	本出願ハ出願當時試掘鑛區ト全部重複ニ付キ不許可

○通運

○航海奬勵認許證書下付　遞信省ニ於テ航海奬勵法ニ依リ大阪商船株式會社所有船城津丸ニ對シ一昨三日ヨリ明治四十三年五月二十八日マテ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ同三十九年六月七日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船（總噸數千二百四十四噸四六、最强速力十二海里三三）ニシテ同年四月十日進水セシモノナリ（遞信省）

○衛生

○傳染病患者及死亡者數　去月六日ヨリ十日ニ至ル赤痢、腸窒扶私、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ（內務省）

△印ハ報告未著

道府縣	赤痢 患者	赤痢 死者	本年初發及進ノ累計 患者	本年初發及進ノ累計 死者	腸窒扶私 患者	腸窒扶私 死者	本年初發及進ノ累計 患者	本年初發及進ノ累計 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	本年初發及進ノ累計 患者	本年初發及進ノ累計 死者
北海道	一	一	一	一	一	一	三九	一	一	一	八三	三

	東京	京都	大阪	神奈川	兵庫	長崎	新潟	埼玉	群馬	千葉	茨城	栃木	奈良	三重	愛知	靜岡	山梨	滋賀	岐阜	長野	宮城	福島	秋田	山形	青森	岩手	鹿兒島	福井	石川
	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	△	一	一	一
	一五	一二	一六	三	七三	七三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一五	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	△	一	一	一
	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
	七三	七五	七三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

	富山	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	和歌山	香川	愛媛	德島	高知	福岡	佐賀	大分	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩	合計	前年比較
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

○外國渡來旅客數　本年四月中渡來外國旅客國別比較左ノ如シ（大藏省）

國籍	四十二年四月人	四十一年四月人	國籍	四十二年四月人	四十一年四月人
英吉利	四三〇	四六三	濠太剌利	一	一
米國	四九三	四六五	土耳其	一	一
獨逸	九二	一〇四	希臘	一	一
佛蘭西	五三	一二	波斯	一	一
露西亞	九四	九八	比利時	一、八六	一、九三九
瑞典	四八九	五四〇	澳地利	一〇	一
瑞國	九四	一〇	和蘭	一〇	一
伊太利	一六九	一四	印度	二	二
葡萄牙	一〇	一	白耳義	二	三
韓國	九四	一三	西班牙	一	五
清國	五四〇	一二	葡萄牙	二	一
伊太利	一六九	一四	墨西哥	一	一
			秘國	二	一
			土耳其	一	一
			合計	一、八六	一、九三九

○雜事

官報 第七七八二號 明治四十二年六月五日（第三種郵便物認可）

○移民取扱出張所設置　移民取扱人森岡眞ヨリ　和歌山縣西牟婁郡串本町千一番地ニ出張所ヲ設置セシ旨本月一日附ヲ以テ届出テタリ（外務省）

○帝國議會

○貴族院

○議員薨去及弔辭　貴族院議員正三位勳四等侯爵池田詮政本月一日薨去ニ付キ一昨三日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員正三位勳四等侯爵池田詮政君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

正誤

昨四日本欄衆議院ノ部議員當選ノ項中川村膵ハ川村嶸ノ誤植

○地方行政

○縣參事會　山形縣ニ於テ本月一日縣參事會ヲ開キ水害復舊ニ關スル明治四十二年度縣歳入歳出追加讓鈍及追加縣稅賦課徴收規則等ヲ議決シ即日閉會セリ（山形縣）

○在外公館報告

○虎列刺豫防ニ小銅板使用ノ件　虎列刺豫防ニ小銅板ヲ使用シタル實驗ニ關スル件ニ付キ孟買駐在領事藤田敏郎ヨリ去月六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

銅板携帶ノ虎列刺豫防ニ特效アルコトハ既ニ本邦ニ於テモ周知スル所ナルヘキモ左記ノ新聞記事ハ印度某茶園ニ於テ實驗シタル成績ヲ示シ兼テ其有效ヲ證スルモノヽ一タルヲ失ハサルヲ以テ参考ニ資セン

銅板携帶ハ虎列刺豫防ニ特效アリトノ說ニ關シテハ疑ヲ本紙（ステーツマン新聞）ニ掲載シタル所ナルカ其後此說ノ實地研究ノ結果倫敦其他各地ノ醫學社會ノ是認スル所ト爲レリ最モ顯著ナル證左ハ銅山坑ニ從事スル工夫中ニハ虎列刺ニ罹ル者ナシト謂フニ在リ倫敦ニ於ケル某虎列刺豫防銅板製造者ヨリ聞クニ右豫防ニ使用スルハ半「クラウン」大ノ階圓形薄銅板ニテ之ヲ胃腔（ミズオチ）ノ上部ノ皮膚ニ接觸スル樣頸ヨリ掛クルモノトス印度ニ於ケル機敏ナル一茶園主ハ之ヲ開知シ直ニ自家所有ノ茶園ニ便役スル勞働者ニ試ントスルカッタ市所在ノ一南館ヨリ數百枚ノ銅板ヲ購入シ其勞働者ニ分與シタリ此ハ一年以前ノコトナリシカ此頃右茶園主ヨリ書ヲ寄セテ曰ク銅板携帶ハ今日マテノ處全然成效ヲ齎セリ或ル時ノ如キハ同疫ハ五哩ノ距ツル他ノ茶園ニ流行猖獗ヲ極メツヽアリシモ自家所有ノ茶園ニハ一人モ感染者クハ特發シタル者ナク勞働者自身モ銅板ノ有效ナルコトヲ信スルニ至レリ（迷信深キ印度勞働者カ斯ノ如キ斬新ノ發明ニ信ヲ置クハ大ニ注意ヲ要スル點ナリトス）勞働者ハ園主ニ告クルニ前年中ハ屢次輕症ナル熱ノ發ス所ト爲リシモ銅板携帶ヲ開始シテヨリ既ノ不規則ニ陷リタルコトナシト而シテ茶園主ハ此實驗試績ヲ公然發表スルニ先チテ尚ホ一年之ヲ試用シ同時ニ銅板ヲ使用セサル他ノ茶園ト詳細ニ比較ヲ爲スヲ計畫ナリト云フ露國某地方ニ於テモ銅板使用以來逐ニ虎列刺ヲ全然驅逐シ去レリトハ報告ノ確證スル所ナリ然レハ印度西地ノ石炭坑ニシテ虎列刺猖獗ノタメ工夫不足ヲ告ケ作業中止ノ不幸ニ遭遇シタルモノヽ如キハ宜シク此簡易ナル豫防法ヲ試驗スヘシ可ト炭坑ニ於テ其勞働者ニ清潔ナル飲水ヲ供スルカタメ「ジェウエル」式水濾器ヲ分頒スルコト竝ニ其他百般ノ衛生的設備ヲ施スコトノ必要ナルハ勿論之ト共ニ値ニ四錢前後ノ費用ニテ恐ルヘキ虎列刺ノ炭坑内ニ侵入スルヲ防遏シ得ルトセハ之ヲ試ルノ價値アルハ敢テ喋々スルヲ分セサルナリ世人或ハ茶園主其他ノ雇主カ其勞働者ニ斯ノ如キ單純ナル見慣ラキ豫防法ヲ施スヲ見テ嘲ハン然レトモ其ハ須カラク甘受シテ可ナリ何トナレハ其成績ハ世人ノ嘲笑ヲ償セテ餘アレハナリ銅板ノ虎列刺豫防ニ特效アリトスル學理ニ至リテハ未タ詳ナラサレトモ銅板カ身體ニ接觸シ居ルトキハ體熱及發汗カ銅板ニ集中シ身體ノ組織ヲシテ爲ニ強固ナラシムト謂フニ在レトモ學理ハ兎ニ角跡タル一箇ノ銅板ニテ事實上恐ルヘキ虎列刺ヨリ超然免疫セラルヽコトヲ得ルトセハ身體ニシテ虎列刺猖獗ノタメ工夫不足ヲ告ケ作業中止ノ不幸ニ遭遇シタルモノヽ如キハ宜シク此簡易ナル豫防法ヲ試驗スヘシ可ト炭坑ニ於テ其勞働者ニ清潔ナル飲水ヲ供スルカタメ「ジェウエル」式水濾器ヲ分頒スルコト竝ニ其他百般ノ衛生的設備ヲ施スコトノ必要ナルハ勿論之ト共ニ値ニ四錢前後ノ費用ニテ恐ルヘキ虎列刺ノ炭坑内ニ侵入スルヲ防遏シ得ルトセハ之ヲ試ルノ價値アルハ敢テ喋々スルヲ分セサルナリ世人或ハ茶園主其他ノ雇主カ其勞働者ニ斯ノ如キ單純ナル見慣ラキ豫防法ヲ施スヲ見テ嘲ハン然レトモ其ハ須カラク甘受シテ可ナリ何トナレハ其成績ハ世人ノ嘲笑ヲ償セテ餘アレハナリ銅板ノ虎列刺豫防ニ特效アリトスル學理ニ至リテハ未タ詳ナラサレトモ銅板カ身體ニ接觸シ居ルトキハ體熱及發汗カ銅板ニ集中シ身體ノ組織ヲシテ爲ニ強固ナラシムト謂フニ在レトモ學理ハ兎ニ角跡タル一箇ノ銅板ニテ事實上恐ルヘキ虎列刺ヨリ超然免疫セラルヽコトヲ得ルトセハ身體ノ安全ヲ欲スル者ハ自ラ之ヲ試用スルヲ要ナリトス

○露國ニ於ケル煙草用紙消費稅ニ關スル件ニ付キ在浦潮斯德領事館事務代理領事官補花岡止郎ヨリ去月二十日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

露國議會ノ協贊ヲ經タル「ギリズイ」（煙草ヲ詰ムル紙）及煙草用切紙ニ對シ消費稅ヲ課スルノ法案ハ今般勅裁ヲ經テ公布セラレタリ右法律ニ依レハ露曆本年五月一日ヨリ同法ヲ施行シ「ギリズイ」百本ニ付キ二哥、煙草用切紙一包（五十枚以内）ニ付キ半哥ヲ徵收スルコトヽ爲レリ而シテ從來同品ヲ販賣セル商人ハ右施行期日後二週間ハ消費稅ヲ納付スルヲ要セサルモ猶豫期間經過後ハ賣殘品ニ對シ相當ノ稅金ヲ納付シ帶封ヲ貼用スヘキコトヽ爲リタリ

○里昂新聞、生絲及羽二重市況　里昂ニ於ケル新聞、生絲及羽二重市況ニ付キ同地駐在副領事木島孝藏ヨリ本月二日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

歐洲及東方諸國新收繭高前年ト略ヽ同樣ナレト日本及上海（此間電文不明）增收ナルヘシト信セラレ新繭相場昨年ニ比シ一割高生絲變化ナシ羽二重沈靜越前尺五六付相場四十一法半見當

○新嘉坡病死者　新嘉坡ニ於ケル本年四月中ノ病死者數ニ付キ同地駐在領事鈴木榮作ヨリ去月十三日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

本年四月中當地ニ於ケル死亡者數左ノ如シ

病名	男	女	計
痙攣病	四五	三三	七八
氣管支炎	三七	一八	五五
「マラリア」熱	一〇六	二二	一二八
腸窒扶私	五	二	七
其他ノ熱病	二	二	四
赤痢	四九	二二	七一
下痢	二一	一二	三三
虎列刺	一八	一三	三一
「ベスト」	大	大	大
「ペリベリ」	一	一	一
天然痘	三	三	六
老衰	一五	一〇	二五
貧血	三三	一八	五一
肺炎	七七	三七	一〇四
腎臟炎	一一	二	三
水腫	二	一	三
毒病	二	二	四
黴毒	三	三	六
虚脱	一〇	一〇	二〇
破傷風	八	三	一一
腹膜炎	大	大	大
胃炎	一	一	二
腸炎	二	二	四
肝臟病	一五	一	六
糖尿病	二	二	四
心臟病	一	一	二
肺結核	一〇七	一三	二〇
腦病	四〇	一四	二八
其他	一四七	一〇八	二五五
合計	八四三	二二三	一〇六六

○觀象

○全國氣象

六月三日

區	測候所	氣壓 平均	氣壓 最高	氣壓 最低	溫度 平均	溫度 最高	溫度 最低	風向	風速	雨量	天氣
一	室蘭	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	函館	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	青森	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	秋田	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	酒田	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	新潟	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	佐渡	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	高田	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	福井	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	金澤	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	伏木	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	輪島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	足尾	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	宮城	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	福島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	白河	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	宇都宮	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	前橋	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	熊谷	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	銚子	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	東京	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	大島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	父島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
一	八丈島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	石巻	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	福島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	新潟	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	高田	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	福井	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	金澤	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	伏木	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	輪島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	足尾	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	宮城	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	福島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	白河	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	宇都宮	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	前橋	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	熊谷	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	銚子	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	東京	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	大島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	父島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
二	八丈島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	京都	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	大阪	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	神戸	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	彦根	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	津	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	名古屋	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	岐阜	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	長野	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	松本	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	高山	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	富山	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	金澤	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	福井	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	敦賀	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	舞鶴	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	宮津	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	豊岡	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	鳥取	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	米子	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	浜田	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	鳥羽	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	和歌山	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
三	潮岬	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	下關	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	關門	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	福岡	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	佐賀	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	長崎	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	佐世保	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	厳原	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	福江	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	熊本	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	鹿兒島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	宮崎	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	都城	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
四	鹿屋	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	名瀬	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	鹿児島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	那覇	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	宮古島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	八重山	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	父島	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇
五	沙市	六六〇・〇	六六〇・〇	六六〇・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇	西	一	〇	曇

○天氣概況　昨日揚子江下流ニ低氣壓顯レ江ニ沿ヒテ東行又昨日琉球列島附近ニ在リシ低氣壓ハ其後著シク進行ヲ爲サス而シテ本州東部ノ高氣壓ハ少シ南東ニ移動セル模樣アリ琉球及臺灣ニテハ概シテ曇天ニシテ九州ヨリ北海道マテハ晴曇相半ス滿洲ニテハ南西ノ風强ク晴天ノ處多シ氣溫ハ數箇ノ六度四ヨリ石垣島ノ二十五度三ノ間ニ在リ

○全國天氣豫報

自六月四日午後六時　至六月五日午後六時

第一區　南東ノ風、概ネ晴
第二區　南西ノ風、概ネ曇後晴
第三區　同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　南西ノ風、概ネ雨後晴
第六區　第五區ニ同シ
第七區　第五區ニ同シ
第八區　第五區ニ同シ
第九區　第五區ニ同シ
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

南ノ風、雨後曇

○暴風警報　第二乃至四區警戒中

○東京氣象

六月三日

氣壓（海面ノ度）	平均	七六二・〇粍
氣溫	平均	二〇・七度
	最高	二五・〇度（平年ヨリ二・〇度高シ）
	最低	一六・八度
濕度	平均	八一・二％
水蒸氣張力	平均	一四・六粍
雲量	平均	八・〇
日照時間		五・〇時
風	平均速度	三・四〇
	最大速度	六・一〇
	多方向	南
降水量	總量	一粍
	一時間最大量	一粍
蒸發量	總量	三・一粍

朝夜霧アリ、月環顯ル

（以上中央氣象臺）

○廣告

○貸借對照表ノ件

銀行會社ニシテ貸借對照表ヲ官報ニ掲載ヲ望ム向ハ當局ノ定ムル官報廣告手續ニ依リテ之ヲ請求セラルヘシ

明治四十二年六月　印刷局

○官報廣告手續

明治三十二年七月一日内閣告示第一號ニ依リ廣告料ヲ徴收スヘキ官報廣告手續大凡左ノ如シ

明治四十二年六月　印刷局

一原稿ノ字體ハ正楷ニ限ル
一用紙ハ罫紙ヲ用ヒ一行ヲヽ隔テ列記スルヲ要ス但シ數回掲載ヲ要スル向ハ一行三十四字詰ノ綴樣罫紙ヲ作リ置キ之ニ記載スルコト最モ便ナリトス
一掲載ヲ要スル日數ト活字號數トハ之ヲ原稿中ニ記入セラルヘシ
但シ本文ハ六號活字ニ限リ四號又ハ五號活字ハ末行ノ記名日本官報株式會社印刷局ノ名稱ニ限ル
一勅行ニ置ク四號活字ノ標目ハ必ス類ニ應シテ當局之ヲ撰記スヘキニ依リ各自ノ撰定ニ任セサル廣告料ヲ廣告料ハ左ノ割合ヲ以テ納金セラルヘシ

四號活字	一行（二十六字詰） 金四十五錢
五號活字	一行（三十四字詰） 金四十錢
六號活字	一行（四十五字詰） 金三十錢

一同表等ヲ掲ムスルモノハ前項ニ比準シ行數ニ見積リテ計算ス又（）或ハ「」ハ一字トシテ計入スル向一行何字詰トアルハ章句ノ連續セルモノヽ計算ニシテ其他ハ總テ字詰ニ依ラス行數ニ應シテ計算スルモノトス
一同一事項ニシテ記載方多岐ニ渉ルモノハ當局ニ於テ一定ノ文例ニ依リ實際掲載ノトキ調酌スルコトアルヘシ
前數項ノ例規ニ準據セサル廣告ハ返戻スルコトアルヘシ

一同	金四十五錢
一同	金四十錢
一同	金三十錢

第七七八二號

○文官高等試驗

文官高等試驗施行ニ付キ文官試驗規則及文官高等試驗細則ニ依リ左記ノ通公告ス

一 豫備試驗及本試驗期日ハ追テ公告ス

一 豫備試驗期限

但シ文官試驗規則第十二條ニ依リ豫備試驗ヲ要セサル者ニ付キテハ來ル七月二十日トス

一 差出スヘキ書類

試驗願書（書式ノ通）

貼付ノ收入印紙ニハ消印スヘカラス

二 履歷書（書式ノ通）

三 文官試驗規則第八條ノ二ニ掲ケタル資格ヲ證明スル之足ルヘキ書類例ハ卒業證明書試驗檢定合格證明書在學證明書其他外國ノ學校ノ卒業シタル者ニ在リテハ當該學校ノ學科程度ヲ認知スル之足ルヘキ書類等ノ如シ

文官試驗規則第十二條ニ依リ豫備試驗ヲ要セサル者ニ在リテハ本號ノ書類ヲ要セス

一書類ハ東京丸ノ内内閣田門（官信櫻門）内文官高等試驗事務所ヘ持參又ハ郵便ニテ差出スヘシ

一受驗者ハ左記ノ事項ヲ心得ヘシ

洋服又ハ羽織袴著用ノコト

一 筆墨硯紙筆、小刀錐及鋏當ヲ必ス携帶ノコト但シ鉛筆及小刀ハ豫備試驗ノトキニ限ル

二 筆墨硯紙筆、小刀錐及鋏當ヲ必ス携帶ノコト但シ鉛筆及小刀ハ豫備試驗ノトキニ限ル

明治四十二年六月

文官高等試驗委員長 安廣伴一郎

文官高等試驗願書式（用紙美濃紙）

本籍 何府縣郡市町村何番地戸主又ハ何某兄弟

現住所 何府縣郡市町村何番地（何某方）

年月日生 氏名

士族平民

印紙

私儀文官高等試驗相受度別紙何々（添付書類）相滿此段奉願候也

文官試驗規則第十一條ノ選擇外國語英、（佛、獨）

同（ハ文官試驗規則第十一條ノ選擇外國語ニ限ル）

文官試驗規則第十四條ノ選擇科目何々

年 月 日 文官高等試驗委員長氏名宛

東京市又ハ其附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ヘキ場所

必ス東京市内ニ定メ左ノ書式ニ依リ通記シ又現住所若クハ通知書ヲ送付スヘキ宿所ヲ韓シタルトキハ其ヲ直ニ届出ヲシ

追テ費委員長ヨリ發スル通知書ハ左ノ所ニ御發送被成下度候

東京市何町（何丁目）何番地（何某方）

履歷書式（用紙美濃紙）

氏名

學歷

一何年何月ヨリ何地何某ニ銃ヲ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修業科目大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス

職業

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何々歷任等

賞罰

○音樂演奏會

本月十三日（日曜日）午後二時三十分本校ニ於テ音樂演奏會ヲ開催ス其出目左ノ如シ

明治四十二年六月

東京音樂學校

一 管絃樂 曲目

歌劇「フライシュッツ」の序曲 ウエーベル作曲

二 獨奏

「ピアノ」 教師 ルドルフ、エー、ロイテル

甲「ガヴォット」 タルペール作曲

及「ミゼレット」 ショパン作曲

乙「エチュード」二曲

三 管絃樂

「シムフォニー」「短ロ調」（不完） シューベルト作曲

四 獨奏

「ピアノ」 教師 ルドルフ、エー、ロイテル

「シムフォニック、スタディズ」 シューマン作曲

五 獨唱、合唱及管絃樂

歌劇「ローレライ」（メンデルソーン作曲） 吉丸一昌譯歌

獨唱 宝 東一

入場料

一等券金二圓 二等券金一圓

入場券賣捌所

東京市本郷區湯島切通坂町二十七番地 南江堂

同京橋區銀座四丁目十番地 松本樂器店

同神田區裏神保町一番地 仙鶴堂

同京橋區竹川町十三番地 三省堂

同本郷區本郷五丁目十番地 共益商社

同京橋區銀座三丁目二番地 美津濃商店

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ届出ツヘシ

明治四十二年六月

郵便爲替貯金管理所

記番號 交付局所名 預ケ人氏名

一二〇一 長門 仙崎 大井 了年子
一二〇二 周防 東屋 藤元 ハルヨ
一二〇三 周防 肥前 武雄 鍋大郎
一二〇四 同 神 中原 キヤマ
一二〇五 同 中 多々良 眞雄
一二〇六 出雲 安來 佐伯 榮治郎
一二〇七 石見 波 來 大阪京町橋 一見 米三郎
一二〇八 同 同 同 大阪西濱 石若 嘉一
一二〇九 同 同 同 酒井 宗十郎
一二〇一 大阪農人橋 同 同 大阪千日前 岡部 保太郎
一二〇二 同 同 同 中林 敏治 健次郎
一二〇三 淡路 佐 淡路 辻 川 青田 龍雄
一二〇四 播磨 辻 城 山 井上 磯田 芳雄
一二〇五 但馬 播磨 兵庫 運河 濱田 民子
一二〇六 但馬 播磨 兵庫 家佐 辻 濱田 せん
一二〇七 但馬 播磨 小 野 谷田 居 晴一
一二〇八 但馬 廣 谷 田 鹿 木田 吉太郎
一二〇九 郵便爲替貯金管理所 高見 貞太郎
一二〇一 播磨 小 野 長尾 英吉
一二〇二 播磨 大 鹽 隈原 きぬ
一二〇三 加賀 金澤 村本 孝治
一二〇四 京都島原 佐野 信三
一二〇五 京都四條小 田中 種三
一二〇六 同 橋 山 土 山下 太助
一二〇七 近江 土 谷口 伊八
一二〇八 同 同 下 谷口 太助
一二〇九 同 木 天野 吉三郎
一二〇一 同 木 ノ 滿 比 近藤 捨吉
一二〇二 備前 大 川 曾我 準一
一二〇三 土佐 上 八 河村 滿喜蓋
一二〇四 大阪郵便爲替貯金管理支所 山 古木 幸三郎
一二〇五 金 中 越智 宗一
一二〇六 新 居 濱 小 坂 文七郎
一二〇七 伊豫 伊 濱 小松 ミツ
一二〇八 阿波 天 幡 笠井 新三郎
一二〇九 同 同 同 同 川 時太郎
一二〇一 同 同 同 同 中 ヤス
一二〇二 同 同 同 同 尾 豐三郎
一二〇三 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇四 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇五 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇六 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇七 土佐 生 梶原 武市
一二〇八 但馬 野 繁 清作
一二〇九 但馬 武市 繁實 文子

記番號 交付局所名 預ケ人氏名

一二〇一 長門 仙崎 大井 了年子
一二〇二 周防 東屋 藤元 ハルヨ
一二〇三 周防 肥前 武雄 鍋大郎
一二〇四 同 神 中原 キヤマ
一二〇五 出雲 安來 佐伯 榮治郎
一二〇六 石見 波 來 大阪京町橋 一見 米三郎
一二〇七 同 同 同 大阪西濱 石若 嘉一
一二〇八 同 同 同 酒井 宗十郎
一二〇九 大阪農人橋 同 同 大阪千日前 岡部 保太郎
一二〇一 同 同 同 中林 敏治 健次郎
一二〇二 淡路 佐 淡路 辻 川 青田 龍雄
一二〇三 播磨 辻 城 山 井上 磯田 芳雄
一二〇四 但馬 播磨 兵庫 運河 濱田 民子
一二〇五 但馬 播磨 兵庫 家佐 辻 濱田 せん
一二〇六 但馬 廣 谷 田 居 晴一
一二〇七 但馬 小 野 谷田 鹿 木田 吉太郎
一二〇八 郵便爲替貯金管理所 高見 貞太郎
一二〇九 播磨 小 野 長尾 英吉
一二〇一 播磨 大 鹽 隈原 きぬ
一二〇二 加賀 金澤 村本 孝治
一二〇三 京都島原 佐野 信三
一二〇四 京都四條小 田中 種三
一二〇五 同 橋 山 土 山下 太助
一二〇六 近江 土 谷口 伊八
一二〇七 同 同 下 谷口 太助
一二〇八 同 木 天野 吉三郎
一二〇九 同 木 ノ 滿 比 近藤 捨吉
一二〇一 備前 大 川 曾我 準一
一二〇二 土佐 上 八 河村 滿喜蓋
一二〇三 大阪郵便爲替貯金管理支所 山 古木 幸三郎
一二〇四 金 中 越智 宗一
一二〇五 新 居 濱 小 坂 文七郎
一二〇六 伊豫 伊 濱 小松 ミツ
一二〇七 阿波 天 幡 笠井 新三郎
一二〇八 同 同 同 同 川 時太郎
一二〇九 同 同 同 同 中 ヤス
一二〇一 同 同 同 同 尾 豐三郎
一二〇二 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇三 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇四 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇五 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇六 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇七 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇八 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇九 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇一 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇二 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇三 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇四 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇五 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇六 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇七 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇八 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇九 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇一 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇二 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇三 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇四 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇五 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇六 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇七 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇八 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇九 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇一 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇二 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇三 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇四 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇五 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇六 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知
一二〇七 同 同 同 同 喜久 安藤三郎
一二〇八 同 同 同 同 久 米 安藤
一二〇九 同 同 同 同 山 中 清作
一二〇一 同 同 同 同 尾 高知市町筋 高知

右購買ス入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
右購買ス入札者ハ當局計理ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十二日午前十一時
此契約ハ中部鐵道管理局長古川阪次郎擔任ス
明治四十二年六月五日

中部鐵道管理局

一電燈取設　一式　本年八月十六日マテニ印刷部新築工場納
一汽鑵据付（第十六號至第十九號）　四百分　本年九月三十日マテニ抄紙部納
右購買ス入札保證金見積代金百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札保證金見積代金百分ノ十（圓未滿切上ク）
右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書及契約心得書熟覽ノ上本月二十一日午前十時三十分限當
部ニ入札ス〈シ即時開札ス
此契約ハ印刷局長神野勝之助擔任ス
明治四十二年六月五日

印刷局會計部

一砂利　七百立坪　三百六十立坪　大藏省臨時建築部神戸支部納
右購買ス入札保證金見積代金百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
午前十一時限入札書ヲ當支部ニ差出ス〈シ即時開札ス
此契約ハ大藏省臨時建築部神戸支部長齋藤重高擔任ス
明治四十二年六月五日

大藏省臨時建築部神戸支部

第二十六號　上等燒瓦（並形）　二十万枚
第二十七號　水寫黃洋紙　一万枚　入札保證金各自入札金高百分ノ五以上
右購買ス入札望ノ者ハ本月十九日マテニ營繕帶出廠入札心得書ヲ提出ス
十一日午前十一時マテニ當廠ニ入札ス〈シ即時開札ス但シ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ妨
ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ
此契約ハ大阪砲兵工廠提理加藤泰久擔任ス
明治四十二年六月五日

大阪砲兵工廠

第一號　石炭三十万斤　第二號　木炭六千貫匁（火鉄斗用）
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事スル旨市
町村長ノ證明アル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ本月二十一日マテニ當廠ニ就キ入札心得書、契約書案及標本熟覽ノ上同二十二
日午前十時當廠ニ入札ス〈シ即時開札ス
此契約ハ廣島陸軍被服支廠長端井正次擔任ス
明治四十二年六月五日

廣島陸軍被服支廠

第一號　精米　百九十石　陸軍士官學校納
第二號　同　百九十三石　同經理學校納
第三號　同　四百二十石　同被服本廠納
第四號　同　五百三十石　同戸山學校納
第五號　同　百五十九石　歩兵第一聯隊納
同第三聯隊及東京第一衛戍病院納
同第四聯隊及東京第二衛戍病院納
同獸醫學校納
第六號　同　百石　野砲兵第一聯隊納
第七號　同　六十五石　工兵第一大隊納
第八號　同　百五十石　輜重兵第一大隊納
第九號　同　百五十石　野砲兵第十五聯隊納
第十號　同　百七十石　同第十六聯隊納
第十一號　同　百五十石　同第十七聯隊及國府臺衛戍病院納

第十二號　同　三百六十石
第十三號　同　二百九十石
第十四號　同　四百八十石
第十五號　同　三百七十四石
第十六號　同　四百五十石
第十七號　同　四百五十石
第十八號　同　六十三石
但シ内約二十三石ハ同校板橋分校納
第十九號　搗割麥　三百石　歩兵第五十九聯隊納
第二十號　同　百三十七石　騎兵第十一、第十六聯隊及下志津衛戍病院納
第二十一號　同　百八十五石　野砲兵第十八聯隊及千葉衛戍病院納
第二十二號　同　二百三十石　歩兵第五十七聯隊及佐倉衛戍病院納
第二十三號　同　七十七石　重砲兵第一、第二聯隊及豫賀衛戍病院納
第二十四號　同　五十七石　陸軍重砲兵第一、第二聯隊及東京衛戍病院納
第二十五號　同　二十七石　歩兵第四十九聯隊及甲府衛戍病院納
第二十六號　同　四十七石　東京衛戍監獄納
第二十七號　同　四十七石　陸軍砲兵工科學校納
第二十八號　同　四十七石
第二十九號　同　四十七石
第二十號　同　百八十五石　同第四十九聯隊納
第二十一號　同　百三十石　同第五十七聯隊納
第二十二號　同　二百三十石　野砲兵第十六聯隊納
第二十三號　同　七十七石　同第十七聯隊納
第二十四號　同　五十七石　工兵第一大隊納
第二十五號　同　二十七石　輜重兵第一大隊納
第二十六號　同　四十七石
第二十七號　同　四十七石

第一師團經理部

第一號　搗割麥　三百石　歩兵第五十九聯隊納
第二號　同　二百石　歩兵第二聯隊納
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事スル旨部
市區町村長、島司若クハ稅務署長ノ證明アル者ニ限ル其證明書ハ入札前日マテニ第十四師團經理部
ニ差出スヘシ
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間内）ニ第十四師團經理部ニ就キ入札心得書、契約書案及標
本等熟覽ノ上本月二十一日午前十時マテニ入札保證金ヲ納ム同十時三十分入札ス〈シ即時開札ス
此契約ハ第十四師團經理部長黑住弘毅擔任ス
明治四十二年六月五日

第十四師團經理部

第一號　精米　七百二十石　第八號　搗割麥大麥　一万九千四百貫
第二號　大麥　二千五百貫　以上同高師也在部隊納
第三號　藁　二千貫　第九號　精米　六百石
以上第十五師團穀橋也在部隊納　第十號　搗割麥　二百十石
第四號　精米　千四百六十石　第十一號　新藁　三万六千貫
第五號　大麥　二百三十石　以上同靜岡也在部隊納
第六號　搗割麥　十七万三千貫　第十二號　精米　六百石
第七號　藁　十五万三千貫　同濱松也在部隊納
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來引續キ其業ニ
從事スル旨證明アル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ今五日ヨリ本月二十一日マテ（執務時間内）ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標
本熟覽ノ上同二十一日午後一時限當部ニ入札ス〈シ即時開札ス
此契約ハ第十五師團經理部長齋藤文賢擔任ス
明治四十二年六月五日

第十五師團經理部

一「バーエンズ」　五万基　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右購買ス入札望ノ者ハ當廠會計部ニ就キ契約書案及入札心得書及契約書案
札書差出ス〈シ即時開札ス
此契約ハ海軍造兵廠長澤鑑之丞擔任ス
明治四十二年六月五日

海軍造兵廠

盤第三八八號ノ二四
一鋼板天井材　千八百十二枚　一「マイ、ボー」　百三十八箇
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上契約保證金請買代價百分ノ十（圓未滿切上ク）圓位ニ止
ム入札者ハ二年以來其業ニ從事ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部建築科ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上本月十九日午前十時マテ
ニ營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同科ニ入札書差出ス〈シ同日午前十一時同科ニ於テ開札ス
此契約ハ横須賀海軍經理部長相原益功擔任ス
明治四十二年六月五日

横須賀海軍經理部

一注入彩電柱（檢代標書カラス）　四百八十本　但シ名古屋外二箇所分納
明治四十一年五月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局會計課ニ就キ入札心得書、仕樣書及契約書案等熟覽ノ上本
月二十二日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ名古屋郵便局長木槻幸吉擔任ス
明治四十二年六月五日

名古屋郵便局

○購買入札公告中訂正

水月一日本欄内掲載當廠購買入札公告中契約擔任官「宇品陸軍糧秣支廠長事務取扱池田重遠」ヲ「宇品
陸軍糧秣支廠長代理砲兵井盛章」ニ同二日本欄内ニ掲載訂正セシ處更ニ「宇品陸軍糧秣支廠長心得高木元
太郎」ニ訂正ス
明治四十二年六月五日

宇品陸軍糧秣支廠

○工事請負入札

北海道釧路線利別停車場構内驛降場新設其他工事　約三百九十七立坪
一驛降場土留擁壁新設　延長五百十一呎
一待合所新設一棟　五坪　二坪五合四勺七才
一圍便所新設一棟　二坪五合四勺七才
右購買ス入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
本月十九日午前十一時限入札書ヲ當局ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ北海道鐵道管理局長野村輝三郎擔任ス
明治四十二年六月五日

北海道鐵道管理局

○入札拂下

第一號　厚毛布　九百六十四枚　外四十點
但シ歩兵第五聯隊貯藏ノ分
第二號　毛布　三百八十四箇　外十六點
但シ歩兵第十七聯隊貯藏ノ分
第三號　厚毛布　五十四枚　外十點
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上

鐵道院北海道建設事務所

北海道線旭川停車場構内假官舍新設其他工事
一丙號假官舍　建坪五十一坪　一板塀
一丁號假官舍　建坪九十三坪　一箱下水
一假令宿所增築　建坪三十五坪　一吸込桝
一井戸屋形　三箇所　一大下水
一井戸　建坪六坪餘
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上本月二十一日午前十
一時限入札書ヲ當所ニ差出ス〈シ即時開札ス
此契約ハ鐵道院北海道建設事務所長稻垣兵太郎擔任ス
明治四十二年六月五日

鐵道院北海道建設事務所

第一號　厚毛布　九百六十四枚　外四十點　但シ歩兵第八大隊貯藏ノ分
第二號　毛布　三百八十四箇　外十六點　同　千六百十八枚　外四十五點
但シ歩兵第三十一聯隊貯藏ノ分
第三號　毛布　五十四枚　外十點　但シ歩兵第三十一聯隊貯藏ノ分
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上　三百六十九箇　外七十四點
但シ第八師團經理部貯藏ノ分

帝國總領事館

合名會社登記謄第一〇冊第四三號　桑原式造靴合名會社
一商號　東京市四谷馬傳馬町一丁目二十五番地
一本店　許靴類者ノ許諾ヲ得テ特許第一四四四八號桑原式靴製作方法ニ依ル
一目的　靴ノ製作販賣及其他ノ靴並ニ附屬ノ製作販賣營業ヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十二年五月二十五日
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　存立時期明治四十二年五月二十五日ヨリ同四十八年五月二十四日迄
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格

右資却ス買受望ノ者ハ本月二十二日マテ（執務時間内）ニ第八師團經理部ニ出頭入札心得書及契約書案
等熟覽ノ上（現品ハ貯藏部廠ニ就キ見ルヘシ）同二十三日午前十時第八師團經理部ニ入札スヘシ即時開
札ス
此契約ハ第八師團經理部長梶塚鑛太郎擔任ス
明治四十二年六月五日

第八師團經理部

○林野賣拂公告中訂正

去月二十四日本欄内掲載當番林野賣拂公告中五四六頁一段遠第一一六號同第一一七號ノ内大槌町ノ下
「大字ノ二字ノ二字ノ削除シ同二段遠第二八一號「字野平害」ヲ「字野手害」ニ五四八頁一段南第五三五號「字
敢ケ殺」ヲ「牧ケ殺」ニ、同二段本行「同上一五番ノ一二ノ内ヲ」同上一五番ノ一二ノ内三」ニ、五四九頁
二段七第一六七一號ノ九「實測面積一段八畝二四號」ヲ「一段八畝二四歩」ニ訂正ス
明治四十二年六月五日

青森大林區署

○支金庫移轉

名古屋本金庫所屬大泉原支金庫ハ本月十日三重縣員辨郡大泉原村大字楚原四百六十五番地ヘ移轉ス
明治四十二年六月

中央金庫

○商業登記

株式會社安東運輸會社登記事項中左ノ通變更
（十一）　監實役　杵淵孫藏ノ九　明治四十二年四月二十八日辭任シタリ
株式會社百三十銀行登記事項中左ノ通變更
右明治四十二年五月十七日登記
一明治四十二年五月十四日隱居仲條主總會ヲ開キ左記取締役二名監實役一名ヲ選任シタルニ何レモ就任
シタリ　取締役　大阪市西區西道頓堀通三丁目二十八番屋敷　富士田卯之助
取締役　大阪市北區上福島二丁目四百六十七番地　森本清兵衛
監實役　同　至
右明治四十二年五月二十四日登記
商號登記簿第一冊第四號　勝武洋行繭米所
一商號　米穀商
二營業ノ種類　米穀商
三營業所　清國安東縣四番通六丁目三番地一號
四商號使用者ノ氏名住所　清國安東縣四番通六丁目三番地一號　田中　米穀
右明治四十二年五月二十五日登記

在清國安東帝國領事館

大阪商船株式會社登記事項中變更
一明治四十二年五月十一日上海支店ヲ廢止ス
合名會社鈴木商店登記事項中變更
一明治四十二年五月十四日上海支店ヲ清國上海北蘇州路第四十號ニ移轉ス
右明治四十二年五月二十五日登記

在清國上海帝國總領事館

第七七八二號　明治四十二年六月五日（第三種郵便物認可）

一金二万五千圓　一金二万五千圓　一取締役ノ氏名住所　一本社ノ所在地　一公告ノ方法　一資本ノ金額　一株式ノ種類及其ノ數　一會社ノ目的　一會社ノ名稱

右明治四十二年五月三十一日登記

東京區裁判所

一株式會社設立ノ年月日　一株式會社ノ名稱　一本社ノ所在地　一資本ノ金額　一株式ノ種類及其ノ數　一會社ノ目的

右明治四十二年五月三十一日登記

東京區裁判所南品川出張所

一株式會社設立ノ年月日　一株式會社ノ名稱　一本社ノ所在地　一資本ノ金額　一株式ノ種類及其ノ數　一會社ノ目的

右明治四十二年五月三十一日登記

東京區裁判所

一會社ノ名稱　一會社ノ目的　一本社ノ所在地　一資本ノ金額　一株式ノ種類及其ノ數

右明治四十二年五月三十一日登記

東京區裁判所小松川出張所

一會社ノ名稱　一會社ノ目的　一本社ノ所在地　一資本ノ金額　一株式ノ種類及其ノ數

右明治四十二年五月三十一日登記

東京區裁判

明石合資貸會社資本増加登記
社員明石萬之助出資額二万二千圓ノ内金二千五百圓増資シテ出資額金二万四千五百圓ト變更ス
右明治四十二年五月二十九日登記ス

大館區裁判所扇田出張所

合名會社登記第一號
一商號　恵邊煙草元寶捌合名會社
一本店　秋田縣北秋田郡大館町西大館六十番地
一支店　秋田縣北秋田郡阿仁合町水無字大町二十七番地　鹿角郡小坂村字尾樽部九十四番地　同郡花輪町九十三番地
一目的　煙草元寶捌營業
一設立年月日　明治四十二年五月二十一日
一代表社員ノ氏名　石田孫十郎　松下文太郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　秋田縣北秋田郡大館町西六館七十九番地　石田孫十郎
同所五十三番地　藤島常三郎
同所四十九番地　小棚木幸太郎
同郡扇田町五十九番地　乳井安太郎
同縣鹿角郡小坂村小坂字尾樽部三十九番地　松下文太郎
一金四千圓
一金四千圓
一金二千圓
一金九千圓
一存立時期　煙草元寶捌入指定期間内
右明治四十二年五月二十九日登記

○法人登記

法人登記組更
勤發報德社登記事項中左ノ通變更ス　明治四十二年二月十二日社員總會ノ決議ニ依リ存立時期ヲ明治三十一年一月六十箇年トス
右明治四十二年五月三十一日登記ス

掛川區裁判所平田出張所

○産業組合登記

大泉村無限責任生産購買販賣組合登記事項中監事任期滿了ニ付明治四十二年一月二十日通常總會ニ於テ改選ノ處左ノ通重任セリ
北豐島郡大泉村大字小德四百八十一番地　鈴木　政和
同郡同村大字同六百十八番地　平野　平藏
同郡同村大字上北支田八百十二番地　加藤伊太郎
右明治四十二年五月二十九日登記

東京區裁判所上總馬出張所

産業組合登記簿第二號
明治四十二年五月二十日無限責任東村信用購買生産販賣組合監事滿期改選ニ付總會ノ決議ニ因リ小林彌門星野傳三郎再選重任シタリ
右明治四十二年五月三十一日登記ス

沼田區裁判所東出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任大阪鴻屋業購買組合
一組織　組織有限責任
一事務所　事務所大阪市南區日本橋筋四丁目
一目的　目的鴻屋業及生産ヲ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却ス
設立許可明治四十二年五月十四日
出資一口ノ金額　金六圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ヲ爲ス
一出資拂込ノ方法　第一回ノ拂込金額ハ出資一口ニ付金六圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ヲ爲ス
理事大阪市南區日本橋筋四丁目今井延藏同市西區土佐堀通三丁目米原壯太郎同市東區空堀通三丁目野口庄八同市南區天王寺椎寺町中橋民藏同市西區土佐堀通二丁目米原壯太郎同市東區安土町二丁目林銀治郎同市同區豐後町唐川辨助同市南區長堀橋筋一丁目高橋幸治郎同市東區北濱二丁目中本孝太郎同市北區龜甲町岡本由敬同市同區曾根崎上一丁目淺野市松同市南區田島町木村治郎吉同市西區新町南通三丁目松川初藏清算人ニ就任
右明治四十二年五月二十八日登記

大阪區裁判所

無限責任額井信用組合理事一名增員ニ付明治四十二年五月十五日組合員總會ニ於テ選擧ノ處奈良縣宇陀郡榛原町大字鷹匠町八十松當選就任ス
右明治四十二年五月二十七日登記

松山區裁判所榛原出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任内牧信用購買組合
一組織　組織有限責任
一事務所　事務所内牧村大字内牧字九百三十三
一目的　目的組合員ノ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ組合員ニ賣却スルコト五設立許可ノ年月日　明治四十二年六月二十七日
出資一口ノ金額　金二十圓第一回已後之拂込ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充フルモノ、外各一口ニ付毎年一月十日ニ金一圓二十錢宛拂込ムコト八理事ノ氏名住所奈良縣宇陀郡内牧村大字内牧三十番屋敷大門作次郎同大字七十番屋敷中林彌八同大字二千百七十三番地的場富九藏
一理事ノ氏名住所　奈良縣宇陀郡内牧村大字内牧千九百九十一番地穗口三吉同大字三十番屋敷芝田定吉同大字三十四番屋敷中尾奈良遠十
一存立ノ時期　二十箇年
右明治四十二年五月二十八日登記

姫路區裁判所田原出張所

産業組合登記第四號
一名稱　無限責任加瀬信用組合
一組織　無限責任
一事務所　香川縣綾歌郡加茂村大字鴨千百七番地第一
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十二年四月二十一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ出資一口ニ付金一圓ヨリ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外一口ニ付毎年五月十一月ニ金一圓ヲ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所　綾歌郡加茂村大字鴨イ二百四十八番地　河合　休甫
同郡同村大字同二百二十七番地　堀　市郎
同郡同村大字同二百四十一番地　河合　七郎
同郡同村大字氏部十六番地　井上　紫三
同郡同村大字同八十七番地　井上芳三郎
綾歌郡加茂村大字鴨四十七番地　松井　徑市
同郡同村大字同百四番地　清生藤次郎
同郡同村大字氏部百五十四番地　富永　重行
十箇年
右明治四十二年五月三十一日登記

丸龜區裁判所坂出出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任内牧信用組合設立登記
一組織　有限責任西田中信用組合　組織　有限責任
一事務所　事務所西田中信用組合　名稱　有限責任西田中信用組合
一目的　目的組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十二年四月二十六日
一出資一口ノ金額　出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資拂込ノ方法第一回ノ拂込金額ハ出資一口ニ付金一圓ヨリ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ左ノ各號ノ一ヨリ出資拂込ヲ爲スコトヲ得、一出資各一口ニ付毎年一月及七月末金二十錢以上拂込ムコト、二出資各一口ニ付毎年十二月二十日迄ニ一圓二十錢以上拂込ムコト、三第一回拂込後一箇年以内ニ金額ヲ拂込ムコト、但シ毎年十二月二十日迄ニ一回ニ取纏メ記帳ヲ爲スモノトス　理事ノ氏名住所　神崎郡川邊村ノ内西田中村三六番屋敷後藤林藏同村三八二番地元田高次同村三九八番地後藤房吉　監事ノ氏名住所　神崎郡川邊村ノ内西田中村四四四番地ノ一後藤源作同村五二番屋敷後藤常吉同村二二番屋敷大谷庄太郎　存立ノ時期　明治四十二年五月ヨリ向フ二十箇年
右明治四十二年五月二十八日登記

一出資一口ノ金額
一出資拂込方法
一設立許可ノ年月日
一理事氏名住所
一監事ノ氏名住所
一存立時期
右明治四十二年五月二十九日登記

無限責任八幡村信用組合登記事項中左ノ通變更ス
一名稱ヲ無限責任八幡村信用購買組合ト變更ス
一目的ヲ一、組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト二、産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ各組合員ニ賣却ス
一設立許可ノ年月日　明治四十一年一月二十五日
一出資一口ノ金額　出資一口ニ付金五十錢以上ヲ拂込ムモノトス
一理事氏名住所　第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外毎年二月末日金五十錢以上ヲ拂込ムモノトス
一監事ノ氏名住所　理事ニ於テ其金額及拂込ノ時期ヲ指定ス
一存立時期　明治四十二年五月二十九日
右明治四十二年五月二十九日登記

三次區裁判所三良坂出張所

無限責任三隅信用購買組合
一名稱　無限責任三隅信用購買組合
一組織　組織無限責任
一事務所　事務所山口縣大津郡三隅村大字三隅中第一五二五番地
一目的　目的組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ並ニ農業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却ス
一設立許可ノ年月日　明治四十一年二月二十五日
一出資一口ノ金額　出資一口ノ金額ハ一口ニ付金五十錢宛ト第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノトス
一出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外毎年二月末日金五十錢以上ヲ拂込ムモノトス
一理事氏名住所　理事ノ氏名住所大津郡三隅村第五一五番屋敷河邊條藏同郡同村第一五五番屋敷大谷與兵衛同郡同村第五七七番屋敷小枝新一
一監事ノ氏名住所　大津郡三隅村大字三隅上第一九五番屋敷大谷與兵衛同郡同村第五七七番屋敷小枝新一
四一八〇番地伊東好輔同郡同村第五二二番屋敷坂井吉三　同郡同村第五五二番屋敷光本平三郎　存立時期　設立ノ日ヨリ三十箇年
明治四十二年五月二十九日登記

萩區裁判所東深川出張所

有限責任北谷村信用組合監事宮城猿介ハ明治四十二年五月二十四日辭任ス
右明治四十二年五月二十五日登記

那覇區裁判所嘉手納出張所

一名稱　保證責任東宮行啓紀念保證責任玉野村信用購買販賣生産組合
一組織
一事務所　山形縣北村山郡玉野村大字北郷三百十七番地
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
組合員ノ生計又ハ産業ニ必要ナル物ヲ購買シテ之レヲ組合員ニ賣却スルコト
組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタルモノヲ販賣スルコト蠶繭業ニ必要ナル器械ヲ備ヘ之レヲ組合員ニ使用セシムルコト
明治四十二年三月十六日
金十圓
第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年八月十二月末日迄ニ金五十錢宛拂込ムモノトス
前項ニヨリ拂込タル金額及其拂込年月日ハ毎年十二月末日迄ニ一回ニ取纏メ之レヲ記帳ヲナスコト
一理事　山形縣北村山郡玉野村大字北郷三百十七番地　菅野　忠藏
同縣同郡同村大字北郷六十八番地　菅野富三郎

一監事
同縣同郡同村大字鶴巻田三百九十四番地　折原安次郎
同縣同郡同村大字鶴巻田三百九十四番地　藤　要吉
同縣同郡同村大字鶴巻田三百九十四番地　高橋權次郎
同縣同郡玉野村大字鶴巻田三百九十四番地
同縣同郡同村大字原田五十七番地　折原清市郎
同縣同郡同村大字原田五十七番地　高橋六郎治
同縣同郡同村大字原田七百十五番地　大山　安治
同縣同郡同村大字原田七百十五番地　西郷　專助
同縣同郡同村大字上柳渡戸七百三十一番地
一存立時期　設立許可ノ日ヨリ滿十五箇年
右明治四十二年五月三十一日登記

山形區裁判所尾花澤出張所

○準禁治産宣告

奈良縣磯城郡纒田村大字茅原二十五番屋敷平民　島岡勝藏郎
右ハ同居ノ父島岡勝藏ノ申立ニ因リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告ス
明治四十二年五月二十八日

奈良區裁判所

判事　福田正己

愛知縣中島郡一宮町大字一宮七百九十六番戸平民　木村　直一
右ノ者ニ對シ實父木村國四郎ノ申立ニ依リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ
明治四十二年二月二十七日生
明治四十二年六月一日

一宮區裁判所

判事　中山正喰

○準禁治産宣告取消

佐賀郡鍋久村ノ内下總久村六十五番屋敷平民農　小林　新八
右ノ者ニ對シ明治三十八年七月二十六日當區裁判所カ宣告シタル準禁治産ハ母かよノ申立ニ因リ之ヲ取消ス
明治四十二年五月二十六日

龍野區裁判所

判事　尾上勁

○失踪宣告

兵庫縣城崎郡餘部村内餘部村七十番屋敷平民　竹内　熊藏
右ノ者ニ對シ葵谷内七郎右衛門ノ申立ニ因リ失踪ヲ宣告ス
明治四十二年五月二十九日
不在者　文久三年三月五日生

豐岡區裁判所

判事　折田正也

兵庫縣城崎郡香住村ノ内一日市村二百六十四番地平民戸主　山脇　柳造
不在者　明治四年八月二十三日生

豐岡區裁判所

判事　折田正也

右ノ者ニ對シ妻とふノ申立ニ因リ失踪ヲ宣告ス
明治四十二年五月二十九日

○除權判決

滋賀縣大上郡彦根町大字上新屋敷二十一番屋敷士族運送業　田井中牧八
申立人

一SR印紋糸一百俵内國運輸株式會社貨物引換證一通
但發行日付明治四十一年五月二十七日番號阪ム十二號　引渡地滋賀縣神崎郡八日市驛荷送人大坂福田

第七七八二號
官報
明治四十二年六月五日（第三種郵便物認可）

埼玉郡荷受人滋賀縣神崎郡八日市町村井善六提出入　内國通運株式會社大坂支店長勝本相定引渡配送店八日市内國通運取引店田井中牧入

右證券紛失ニ付公示催告ヲ爲シタルニ茲期日即明治四十二年五月三十一日午前九時迄ニ權利ヲ屆出且證券ヲ提出スルモノナキニ依リ申立ニ依リ前記證券ノ無效ヲ宣告ス

明治四十二年五月三十一日　東京市日本橋區伊勢町二十二番地後藤長兵衛方寄留　申立人　西尾福治郎

彦根區裁判所　判事　牧村央

明治四十二年（第一號）

一貨物引換證書　一通

但内國通運株式會社神田支店神井第一五號　砂糖　三千百三十斤　四十四箇

一運送品ノ種類數量箇數

一荷送人ノ氏名　後藤長兵衛

一荷受人ノ氏名　依田養三郎

一取引店　内國通運株式會社神田支店

一引渡地　内國通運株式會社水澤取引店

一貨物引換證ノ作成地及其作　荷受人又ハ貨物引換證書持參人

一運送品引渡方法　東京市　明治四十年十二月五日

一成年月日　明治四十年十二月五日

右貨物引換證ニ付申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處明治四十二年五月二十五日午前九時迄ニ權利ヲ屆出且ツ該證ヲ提出スルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基キ前記貨物引換證ノ無效ヲ宣言ス

水澤區裁判所　判事　森田庄藏

明治四十二年五月二十五日

○東京郵便局外國郵便締切時限

明後七日門司マテ汽車便送同地ヨリ烏帽子丸ヲ以テ香港經由印度以遠ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局		價格表記	
通常	七日午後九時半	七日午後六時半	小包	同上	同上
通常（書留）	同日午後九時	同上	香港爲替	同日午後七時	同日午後五時
（備考）	小包ハ印度濠洲及喜望峯殖民地等宛並ニ香港小包トス			同日午後四時	同日正午十二時

本月八日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ鳳山丸ヲ以テ油潤斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局		小包	
通常	八日午後七時半	八日午後五時	爲替（聯合）	同上	同上
通常（書留）	同日午後七時	同上	爲替（特別）	同日午後四時	同日正午十二時
價格表記（備考）	同上	同上		七日午後四時	七日午後四時

露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

同九日横濱マテ汽車便送同地ヨリ加賀丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局		小包	
通常	九日午前十時半	九日午前六時半	爲替（聯合）	八日午後七時	八日午後五時
通常（書留）	同日午前九時半	同上	爲替（特別）	九日午前九時	同日午後四時
（備考）	小包ハ北米合衆國、ポートリコ及加拿陀宛トス			八日正午十二時	同日午前九時半

○同上締切時限變更

浦潮便（西伯利經由歐洲行）ハ從來毎週火、木、土曜日ノ締切ナリシカ自今毎週火、土曜日締切（時刻ハ從前通用日共午後七時半）ニ變更ス

火曜日ノ分ハ日本商船會社船（鳳山丸）ト露國義勇艦隊船（ルンムン號又ハ「ガバナー、ユスケ」號）ノ二艘出帆ス（外國船ハ其船ニテ差立ノ指定アルモノニ限ル）又土曜日ノ分ハ露國義勇艦隊船（「モンゴリア」號）ナリ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

山口丸　明六日午前十時横濱出帆　本月九日午前十時神戸出帆上海行（本月一日ヨリ本邦上海間大割引一等夏期周遊切符ヲ發賣ス）

酒田丸　本月九日正午十二時横濱出帆　四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

加賀丸（米國行）　同日午後二時横濱出帆　ビクトリア、シアトル行（歐米各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）

佐渡丸（豫洲行）　同日正午十二時横濱出帆　同十二日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南（コロンボ）、蘇士、ポートサイド、ジェノバ、馬耳塞（倫敦、アントワープ行

博愛丸　同十日午前十時横濱出帆同十二日午前十時神戸出帆上海行（本月一日ヨリ本邦上海間大割引一等夏期周遊切符ヲ發賣ス）

丹後丸　同十四日午前十時横濱出帆同十八日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海、香港行（米國繞復航）

高砂丸　同二十三日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

熊野丸（豫洲行）　同二十六日正午十二時横濱出帆同二十九日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島（タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン）行

○同上神戸等出發表

書口丸　本月一日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

立神丸　同十三日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

山東丸　同十六日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行

毎日（午後九時）　青森發　翌廿三時　函館著　翌廿八時　室蘭著

鐵倉丸　毎月神戸發正午（三日、十七日）　門司著（四日、十八日）　基隆著午前（七日、二十一日）

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

安平丸　米國行　本月十日午後三時大阪出帆翌十一日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川、鎮南浦、安東縣行

たこま丸　同十七日午前横濱出帆タコマ及シアトル行

戚興丸　韓國行　本月十一日午前八時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、清津行

濟國行　明六日午後四時神戸出帆翌七日午後四時宇品出帆門司、大連行

嘉義丸　本月十日正午十二時大阪出帆翌十一日午前十時神戸出帆門司、大連行

鎮嶺丸　同十一日正午十二時大阪出帆翌十二日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）

大信丸　同十三日正午十二時大阪出帆翌十四日午前十時神戸出帆門司、大連行

開城丸　同十七日正午十二時大阪出帆翌十八日午前十時神戸出帆門司、大連行

天草丸　同十九日正午十二時大阪出帆翌二十日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）

大智丸

釜山丸　本月八日正午十二時横濱出帆同十三日午前八時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行

奉北丸　同十六日午後三時横濱出帆同十九日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行

さくら丸　毎月一日、十一日、二十一日午後二時神戸出帆門司、基隆行

奉南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

蘇州丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行（船客ヲ搭載セス）

大發丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　本月九日午後五時敦賀出帆同十一日浦潮斯德著

土曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

第2178812号